

4 アンケート記述欄の概要

4 アンケート記述欄の概要

(1)各設問の記述 —市民—

Q2 基礎・基本の定着や、自ら学び、考える力の育成を大切にし、一生涯の学びを支える学ぶ意欲を育むために、本市が行う施策として最も有効だと思う取り組みを1つお答えください。

⑤ その他 ()

【未就学児保護者】

- ・正解のない問題、課題について、調べものを学習し、価値観の多様性について話し合い、将来の理想の社会をイメージし、今の自分に何ができるかを考えたり、選挙につなげたりする。
- ・身近ないじめ、ボランティア、地域の話から、国の原子力と再生エネルギー、沖縄の基地など。
- ・興味関心から生まれる個性をのばし、尊重できる教育
- ・尊敬できる先生の指導力
- ・教員の育成・指導

【小・中学校保護者】

- ・教員の働き方改革は早急に対応すべきことと思います。先生方の心の余裕はそのまま子どもたちへの対応へ表れると思っています。
- ・30人学級
- ・選択肢④及び既に小中一貫している他市との連携⇒メリット・デメリットを共有するため。

【関係団体（学校関係）】

- ・まずは、④（相互乗入授業）だと思います。それを踏まえて、可能性なら①（系統性と連続性を生かした9年を見据えた指導）
- ・ゆとりのある心の大人が子どもを育てるということ。現状はとても余裕のない先生たちが子どもたちに携わっているイメージ。
- ・もっと人材確保、先生の心の余裕を保証すべき。子どもも余裕なく多忙で殺伐とした感じがする。
- ・各校同等教育の充実
- ・グローバルな思考をもつような授業。国際社会を意識した人間を育む。
- ・子どもたちを教える先生方が教える楽しさ（いろいろな場面に直面しても）をもっともっと知ってほしい。
- ・先生方のモチベーションを高め、ライフワークバランスの部分をもっと考えてあげてほしい。

【関係団体（福祉関係）】

- ・教育支援センターの充実

【地域（3駅圏）】

- ・少人数制のきめ細かい教育等（4人）
- ・地域、家庭、ボランティア等の協力を受け入れる体制づくり等（3人）
- ・学習への興味・関心の育成
- ・（選択肢③を指して）一部教科担任制なども大事
- ・小・中の文化を活かした、子どもの個性や主体性を育てる教育
- ・1年1年子どもが学習した事に自信がもてる授業
- ・選択肢①のため②～④は必要となる。あるいは、効果的な取り組み

【吉祥寺東コミュニティ協議会】

- ・子どもたちの自立を促す。

【武蔵野の教育を語る会・武蔵野市の「小中一貫校」を考える会】

- ・今のままの教育を続ける等（2人）
- ・少人数学級

Q3 他者への思いやりや、社会の一員として意志をもって行動する力を育むために、本市が行う施策として最も有効だと思う取り組みを1つお答えください。

⑤ その他（ ）

【未就学児保護者】

- ・話し合いや議論の取組の充実等（2人）
- ・倫理、道徳の意味や必要性について子どもたちが自ら考え、話し合い、意見を構築すること
- ・修学旅行で沖縄へ行き、基地問題について学び、騒音などを体験し、地元の人話を聞き、ニュースに関心を持たせ、選挙の投票につなげる。
- ・先生1：児童30人とかの構図じゃない取り組みを増やす。

【関係団体（学校関係）】

- ・選択肢②と③を足して、さらに他学校生との交流

【関係団体（福祉関係）】

- ・能力にあったボランティアに取り組む。
- ・他者への思いやり⇒家庭・地域が創る。

【地域（3駅圏）】

- ・学校内、校区内にとどまらない異年齢交流（大人も含む）
- ・多くの活動を通して身に付くもの
- ・総合的な学習
- ・選択肢①～③を包含した、④
- ・友人同士・親同士の親しい付き合い
- ・学校教育の充実（仕事の分担）

【吉祥寺東コミュニティ協議会】

- ・日々の学校（教員）との接点、会話の中で育む。

- ・他者への思いやりと、社会の一員として意志をもって行動する力をそれぞれ育むためには別の施策が必要です。前者はトリを育ててシメて食べるなど、自分は他者により生かされていることを知る、命の尊さを学ぶ学習。思いやりとは、他者の命や存在を尊ぶことと思う。

- ・障害者や高齢者施設への体験実習

【武蔵野の教育を語る会・武蔵野市の「小中一貫校」を考える会】

- ・小グループの話し合い、協力など
- ・(選択肢③を指して) 教員のフォロー

Q 4 生涯にわたる健康の保持増進や、運動能力を身に付け、運動習慣を確立するために、本市が行う施策として最も有効だと思う取り組みを1つお答えください。

⑤ その他 ()

【未就学児保護者】

- ・子どもと親、両方への教育・意識づくり
- ・大人の場合、①食と排泄のバランス、②運動(すべての活動)と休息(睡眠)のバランス、これが整い、自分のパフォーマンスが上がることを実感できると、よい習慣が身に付くと思うのですが、子どもではどうでしょうか？
- ・運動が苦手な子でも楽しく学べるカリキュラム。自分が運動音痴だったため。

【小・中学校保護者】

- ・幼いころよりスポーツが楽しいという気持ちを育んでくれば、大人になってからでも続けることができると思います。誰もが体育会系の部活を望むわけではないと思います。
- ・基礎・基本を徹底した体育の授業

【関係団体(学校関係)】

- ・運動することがそもそもなんで必要か？を子どもたちに伝えること
- ・日常的な軽い運動を習慣づける教育
- ・体を動かす楽しさを知ること。

【関係団体(福祉関係)】

- ・低学年の体育指導に補助者をつける。

【地域(3 駅圏)】

- ・遊びや運動ができる環境の充実(4人)
- ・知らないため答えられない。
- ・(選択肢4。地域スポーツクラブなどとの連携)も大事。
- ・選択肢①③、④?を包含した、②

【武蔵野の教育を語る会・武蔵野市の「小中一貫校」を考える会】

- ・いろいろなスポーツの経験の中で自分に向くものをみつける。
- ・中学校ブラック部活の解消

Q5 子どもや家庭、地域や教員を支援するために、本市が行う施策として最も有効だと思う取り組みを1つお答えください。

⑤ その他 ()

【未就学児保護者】

- ・武蔵野市の市民活動推進課が主宰する「コーディネーター養成講座」に参加した際、様々な立場の方が子育て世代とつながりたいとおっしゃっていましたので、市の方で課を越えて、人材を共有、活用できるのではないかと思いましたが、いかがでしょうか。
- ・(選択肢②を指して) 第二校地にフリースクールのようなものを設けてもよいと思います。

【小・中学校保護者】

- ・まずは教員が働きやすく、子どもに向かい合うという仕事に集中できる環境を作ってさしあげてほしいです。

【関係団体（学校関係）】

- ・少人数学級（20人以下）
- ・地域が学校を支えるコミュニティスクール
- ・既存の仕組みにとらわれない新しい仕組み作り。選択肢①～④を合わせるような。
- ・市民の知識や能力を活用できる仕組みをつくり（DB化?）、積極的に関わってもらう取り組み

【地域（3 駅圏）】

- ・外部人材やボランティアの活用等（2人）
- ・先生の時間づくり
- ・①～④またはその他取組すべて。地域の特性によって違うから「最も有効」一つは選べない。
- ・学校を小規模にする。
- ・社会の変化に対応した学校・教育の環境整備。例えば、学童の拡大（1～6年）
- ・選択肢④も当然ですが。コミセン

【吉祥寺東コミュニティ協議会】

- ・登校拒否、いじめ、差別、虐待など不幸せな子どもたちへのセーフティネットをはっきりとつくる。
- ・障害児対策（知的、肢体、聴覚、視覚等）
- ・学校を地域が支えるコミュニティスクール⇒小中一貫校

【武蔵野の教育を語る会・武蔵野市の「小中一貫校」を考える会】

- ・選択肢②も必要ですが、とても悩んでいる子、それを言えない子に手をのばせる相談員を、学校の中に副担任がつくと違って来るかもしれない。
- ・児童館、子ども食堂増設

4 アンケート記述欄の概要

(1)各設問の記述 —教員等—

【小学校教員等】

Q 1 「小中一貫教育」を実施し、「義務教育9年間を見据えた学習指導」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）
カ その他（ ）

- ・小学校を出て浮かれる子が少なくなる。
- ・特別な支援を必要とする児童に対する支援の充実
- ・異年齢交流
- ・新しい環境に適応しにくい子の不登校が減るかもしれない。
- ・教員の授業改善
- ・特別支援を要する児童の情報共有等（含保護者の対応）
- ・思考力、表現力の発展
- ・新しい環境（小→中）への不安の解消
- ・中学校教員の負担軽減（9年間通した生活指導、小学校での学習指導へのサポートによる円滑な移行）
- ・系統性を考えた指導ができる。
- ・9年間を通した学習計画の作成ができる。
- ・小中の教員が相談しやすくなる。
- ・集団としての一体感の醸成
- ・選択肢ア～オまで、カリキュラムや教員の連携等、筋を通して取り組めるのなら効果は期待できると思う。ただ、そのベースづくりはかなり時間と労力がかかるように思う。
- ・（選択肢イウを指して）勉強ができる子のみ。意欲がある子のみ。
- ・効果は特にない、分からない等（29人）

Q 2 「小中一貫教育」を実施し、「義務教育9年間を見据えた学習指導」を推進する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）
カ その他（ ）

- ・授業時数やカリキュラム作成、業務の増加による教員の負担の増大、時間の確保等（22人）
- ・指導方法や価値観の違う小・中学校の教員が十分な連携を図れるか等（13人）
- ・人間関係の固定化や中学進学時の気持ちの切り替えができない等、9年間が一貫となることによる気持ちの面での弊害等（9人）
- ・小・中学生がともに使う施設を、十分に確保し、安全に使えるのか等（9人）
- ・授業時間、生活時間等の小中学校間の違いやルールの統一等（6人）
- ・行事の実施方法について（2人）

- ・小学校教員の部活動への参加（2人）
- ・他地区によると、6年生の活躍場面が減ってしまうこと
- ・小・中学校の授業改善が進まないのではないか。
- ・相互乗り入れ授業の実施について。
- ・発達段階に即した指導ができない。
- ・他区では、中学校の免許がないと5、6年が持てないときいたが、そのようなことになるのではないか…
- ・小学校は6年、中学校は3年という固定化された概念を取り払うことができるか。
- ・小学校免許しかない場合は、小中一貫教育の学校に勤務できないのか？
- ・今まで行われてきたカリキュラムが円滑に実施できず、知識・理解・技能の習得に必要な時間・場所・物が確保できない。
- ・学習指導より、保護者対応（学校教育にそもそも否定的な方）で苦慮すると思われる。
- ・他の地区との整合性…卒業式の経験、受験、転出入など
- ・企画立案する者の研究次第でしょう。
- ・中学受験により小6から中1に進学する際に、学区によって児童が少なくなってしまうところもある。
- ・中学校3年の受験から逆算して、どのように子どもに得点させるか、という指導に陥りやすいという危惧がある。そのため、一人一人の個の発達の過程に沿って、適時性を持った指導がしにくいのではないか。
- ・市民科を取り入れるにあたり、品川区の反省は受けて行っているのか。効果が薄いのではないか。領域としての学級活動、総合の扱いはどうなるのか具体的でない課題がある。
- ・もっともっとたくさん課題があります。
- ・様々な課題はありますが、一つずつクリアすべきと考えます。
- ・あそべえとの絡み
- ・朝練、放課後練は？
- ・スパンが長いので個々の成長の実態をとらえた指導ができるのか。（Q1の表現力の育成等）
- ・先行実施等でメリット・デメリットを挙げずに行っていくこと
- ・全く想像がつかず何が課題としてあるのか具体的に示せず申し訳ありません。ですが、不安はあります。
- ・年齢差が大きすぎる（現小1と中3）
- ・（異動に伴う）本市の一貫教育を立ち上げる理念の継続。
- ・分からない、よく分からない等（4人）

Q3 「小中一貫教育」を実施し、「小学校高学年での一部教科担任制」を実施すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）

カ その他（ ）

- ・現在の取組で十分な効果が得られている等 (3人)
- ・「小学校高学年での一部教科担任制」は効果が高いように思う。
- ・評価方法にもよるが負担は減る。
- ・教員の専門性の発揮。一つの授業を複数回行うという、教材研究等の効率化→教員の負担軽減。
- ・学力の高い子、意欲の高い子は見通しが持て、学力向上が図れる。
- ・指導者の力量による。
- ・分からない等 (14人)

Q5 「小中一貫教育」で「小学校高学年での一部教科担任制」を実施する場合の、不安や課題は何ですか？(複数回答可)

キ その他 ()

- ・学級担任が授業を見られないことで、学習面や生活面等、きめ細やかな指導ができない恐れがある等 (5人)
- ・他の業務や授業との調整等 (4人)
- ・現在の取組で十分な効果が得られている等 (2人)
- ・巡回してますが、この部分非常に手間がかかります。ミスも増える。
- ・Q3と同様、人的配置が保障されなければ効果的でない。
- ・(選択肢ウを指して)多忙な現状が大きく改善するのであればOK。
- ・中学年から高学年への指導形態の変化に応じた指導を行う負担が担任にも児童にもあると思う。
- ・合科的な指導は今後より重要視される。学年で年間を見通した計画を適宜検討できれば可能⇒学年の担任が2～3人なら都合がつくが、4人以上だと難しくなってくる⇒小規模なら可能かも。
- ・現状でも実施していけばいいのではないか(行いたいのであれば)。
- ・小中連携で十分にできている。
- ・上記(他選択肢)課題等はありませんが、クリアすべきです。
- ・教員の学習指導力の力量の差
- ・評価などを含めると、教員によって負担度合が大きく異なる。(例)道徳の所見・外国語の所見⇒今後数値化されるかもしれませんが。
- ・教科担任制により、若手がその教科を指導する機会を失う。
- ・教員の中で、低・中・高学年を持つ人が決まってきたそう。

Q6 「小中一貫教育」を実施し、「小・中学校での相互乗入授業」を推進すると、どのような効果があると思いますか？(複数回答可)

オ その他 ()

- ・形だけにならないようにしたい。本当に力をつけるなら、相当の教材研究が必要。
- ・一時的に行うのであれば、意欲向上等の効果はあると思うが、形骸化していくと駄目になっていくと思います。
- ・「中学」という概念がなくなり、近くなることで相互乗り入れが減る。
- ・小中教員の相互啓発
- ・子どものニーズに応えられる専門性の提供
- ・効果はない、少ない、分からない等 (21人)

Q7 「小中一貫教育」で「小・中学校での相互乗入授業」を実施する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）

オ その他（ ）

- ・小学校教員が中学校の授業を指導することの不安や効果への疑問等 (5人)
- ・相互乗入授業の実施のイメージができない、実現するのは難しい等 (4人)
- ・準備や打ち合わせのための時間の確保 (3人)
- ・小・中学校で別になっている教員免許の問題 (2人)
- ・担任がクラスを離れることにより学級が不安定な状態になること等 (3人)
- ・小・中学校の指導内容や方法の違いにより効果は薄い等 (2人)
- ・不安や課題はつきものですが、クリアしていくことが大切と考えます。
- ・(選択肢オを指して) ←そういうやり方はさけるべき。
- ・中学1年生が下学年意識から上学年意識になるかもしれない。
- ・連携の掛け声だけでは実現不可能。
- ・移動時間はロス。・打合せ等による多忙化
- ・空き時間がなくなることを考えると事務作業ができない。
- ・形式的になるのではないかと⇒普段の授業で行う。
- ・効果がない、メリットがない等 (2人)

Q8 「小中一貫教育」を実施し、「児童・生徒の異年齢交流」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）

オ その他（ ）

- ・現在の取組で十分な効果が得られている等 (5人)
- ・どのように取り組むかによる等 (3人)
- ・少子化で遊びや交流の少ない中、異年齢で遊ぶチャンスが増える。
- ・中1の自己肯定感、自己有用感が伸びる。中1ギャップ解消
- ・(選択肢ア～エを指して) 前向きな心を持っている学年がいれば効果はある。
- ・効果はない、特になし等 (16人)

Q9 「小中一貫教育」で同じ学校内で「児童・生徒の異年齢交流」を実施する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）

キ その他（ ）

- ・ 小学校5、6年生の高学年・リーダーとしての自覚の喪失等（9人）
- ・ 中学生から小学生へのいじめや生活面での悪影響等（6人）
- ・ 効果的な交流の仕方が分からない等（3人）
- ・ 準備や打ち合わせのための時間の確保（2人）
- ・ 年齢差が大きく、小学生と中学生では遊びも動きも異なる。同じ敷地にいることが良いモデルになる場合もあるが、よくないモデルになる場合も多々あるし、思い切り遊べない、けがが心配。
- ・ 段階の違う子供たちを集めると狙いが広がりすぎることがある。バランスを大切にすべき。
- ・ 学年によって、できる学年そうでない学年がある。上級生なのに任せられなかったら最悪だし、異学年交流を小中でやるとなるとセクハラ対策にも目を光らせねばならない恐怖がある。
- ・ 連携の掛け声だけでは実現不可能。
- ・ 9年間となると、長すぎてだれる等のマイナス面も予想される。
- ・ 部活動も含むのであれば、小・中学校どちらの教員の負担も確実に増えること。
- ・ 様々な不安や課題はあるがクリアすべき。
- ・ 教員同士で打ち合わせる時間が少なくなってしまう。システムティックにしていけないといけない状況になりそう。
- ・ 近い年齢同士だからこそ上級生としての意識をもったり芽生えたりすることもあると思う。小学生にとっては中学生がいることで、下級生（どうしても子ども）扱いになるのではないか。
- ・ 小学生との交流は「イベント」になり、中学生にとって「息継ぎ」になってしまう心配。

Q10 「小中一貫教育」を実施し、「9年間を通したキャリア教育や進路指導」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）

カ その他（ ）

- ・ 現在の体制でも効果を得ることはできる等（3人）
- ・ 9年間もあるので、ア（自己理解や、自分のよさや可能性に気付くこと）のような良い面もあると思うが、ずっと同じ環境で自分のよさや可能性に気付くことができるのかは分からない。
- ・ 指導者の力量による。
- ・ 進学に際し、早い段階から責任ある選択をしようとする傾向が出てくる。
- ・ 子どもを通して、保護者の不安解消、正しい理解。
- ・ 児童・生徒の上級学校進学への見通し

- ・本当に9年間のキャリア教育プランができていれば、9年間かけられるので大変良い。しかし、逆もあるので、プラン、学校組織自体が重要。
- ・選択肢ウを選択したが、小中一貫が行われたとして、そのカリキュラムの編成の具合によるところが大きいと思う。
- ・選択肢ア～オまで、カリキュラムや教員の連携等、筋を通して取り組めるのなら効果は期待できると思う。ただ、そのベースづくりはかなり時間と労力がかかるように思う。
- ・不安の緩和もある反面、新たなスタートが切れなくなる。
- ・得られる効果が想像できない。
- ・効果はない、分からない等（17人）

Q11 「小中一貫教育」で「9年間を通したキャリア教育や進路指導」を実施する場合の、不安や課題は何ですか？（複数回答可）

オ その他（ ）

- ・教員の時間の確保、負担の増大等（4人）
- ・中学受験をする児童への対応等（3人）
- ・小→中への進学の評価や実感がうすまる。
- ・子供にとってのリセットチャンスが全くなくなり、人間関係のつまづきが延々と引きずられる可能性もあること
- ・教職員のキャリア教育に対する知識、研修がきちんとできていないと、その場、一年限りのいきあたりになり、9年間のキャリア教育を謳えない。
- ・効果がない、分からない等（2人）

Q14 「小中一貫教育」を実施し、「9年間を通した特別支援教育」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）

オ その他（ ）

- ・工夫次第で現在の体制でも効果は得られる等（2人）
- ・障害についての理解、ゆっくと成長する点からすると、9年間は良いと思う。
- ・特別支援教育では、児童の慣れを考えても良いと思う。
- ・生活面と学力面の両方とも一貫した指導ができ、自立や発達がしやすい。
- ・生活面の指導と学習面の指導は自転車の車輪の両輪のようなもの。両方が連動して自立・発達する。
- ・一つの視点、方向性からの指導・支援により、支援の必要な児童・生徒の可能性を狭める可能性
- ・特に考えられない。むしろ小→中の段階でリセットする機会が失われるのでは。
- ・効果ない、分からない等（6人）

Q15 「小中一貫教育」で「9年間を通じた特別支援教育」を実施する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）

カ その他（ ）

- ・ 教員の負担の増大（3人）
- ・ 人間関係の固定化、狭隘化による集団性育成や情緒面の成長の阻害等（3人）
- ・ 特別支援教育に対する小・中学校の意識の違い（2人）
- ・ 実施に向けた準備が大変ではないか（2人）
- ・ 一度何か問題が起きると支援が必要な児童はもちろん、周囲も引きずる可能性がある。小中の区切りがあるから一からやり直すきっかけになっていたケースもある。
- ・ 通級については？
- ・ そもそも、今の教育の同一性の解消の方が、より支援になると考える。
- ・ 一貫教育にしなくても小中の引継ぎをすればいいのではないか。
- ・ 通常級にこだわる保護者へのはたらきかけ
- ・ 特別支援教育＝特別支援学級ではないが、”交流活動”というのは、特別支援学級との？なのではないか。
- ・ 特別支援学校への転籍がしづらくなるのではないか。
- ・ 医療機関、療育機関、教育委員会、保護者、特別支援学校、地域、その他専門家との連携
- ・ よく分からない、思い浮かばない等（3人）

Q16 「小中一貫教育」を実施し、「スクールソーシャルワーカー」や、教員以外で学校と地域との連携を推進する「地域担当職員」などの支援スタッフを各校に配置することは、教育相談体制や地域との連携を充実する効果があると思いますか？

エ その他（ ）

- ・ どのようなスタッフがどのような役割を担うのかによる（4人）
- ・ 現状の取組で導入すれば良いと思う等（3人）
- ・ 活用方法次第で有効だと思うが、現時点でモデルケースを行い、ノウハウをためていく必要があると考える。
- ・ 具体的には何をするのか。
- ・ 効果はない、分からない等（5人）

Q17 Q16の取組を行う場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）

オ その他（ ）

- ・ どのようなスタッフがどのような役割を担うのかによる（5人）
- ・ 具体的なビジョンが想像できない等（2人）
- ・ 教員に対する要望が多くなる。コミュニティをうまく司る人がいないと悪口、陰口が多発する。

- ・ 新たな体制に第二校地の問題が増えると負担だと思います。
- ・ 遠い学校と近い学校が市内で差ができてしまう。
- ・ 第一校地に小中の全クラスが使えるだけの広い校庭が用意できない事
- ・ ケガや不審者への対応困難。
- ・ 施設の維持費用⇒微々たるものであるだろうが、その分改築に充ててほしい。

4 アンケート記述欄の概要

(1)各設問の記述 —教員等—

【中学校教員等】

Q1 「小中一貫教育」を実施し、「義務教育9年間を見据えた学習指導」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）

カ その他（ ）

- ・現在においても、選択肢ア～オの効果はあがっていると思います
- ・学力の二極化がさらに進む（中学に入学することで気持ちのリセットをする機会がなくなるため）。
- ・教員の連携
- ・後期課程の生徒の増加により、小規模小学校の統廃合の不安を払しょくできる。
- ・生徒の個々の問題の共有が小中でできる。
- ・生徒指導の統一
- ・経費の削減
- ・ない、特にない、分からない等（32人）

Q2 「小中一貫教育」を実施し、「義務教育9年間を見据えた学習指導」を推進する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）

カ その他（ ）

- ・教員の負担の増大等（9人）
- ・小・中学校の教員の意識や教育課程、時程の違い等（7人）
- ・人間関係の固定化や中学進学時の気持ちの切り替えができない等、気持ちの面での弊害等（5人）
- ・行事の実施方法について（3人）
- ・施設の使用について（3人）
- ・小・中学校それぞれが築いてきた文化の喪失等（2人）
- ・部活動の指導、維持等（2人）
- ・教員免許の違い（2人）
- ・社会的共通資本としての「学校教育」がなし崩しになってしまうのではないか。
- ・小学校6年生の時に培われたリーダー性を養う機会がなくなる。→子どものリーダー性を養う機会は少なくなっている。一層少なくなるのは、子どもの成長にとって大きなマイナス。
- ・中学校の規模（2クラス）がこれ以上小さくなること
- ・他地区で小中一貫への経過、途中からスタート1年までいたが上の選択肢ア～エの「～ではないか」どころか、「～である」が現実だった。
- ・Q1のとおり、学力を、学習に向かう姿勢を立て直す機会が失われる。

- ・受験にプラスとなる要素が見当たらない。
- ・少人数制との兼ね合い
- ・どの程度”一貫”になる計画なのかも見えない。出前授業ではない相互乗入の体制を組めると思えない。
- ・そもそも小学校で授業をやりたくて教員になったわけではない。
- ・よくわからない
- ・転入生への配慮はあるのか？

Q 6 「小中一貫教育」を実施し、「小・中学校での相互乗入授業」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）

オ その他（ ）

- ・現在の取組で効果を得られている等（2人）
- ・小中一貫をするよりも、体験授業を充実させるほうが現実的で、児童生徒の発達にとってよいと思う
- ・小中教員の相互理解はよくできていると思う
- ・年間通して行わないと効果は？1・2回では効果はない。
- ・試行から本格実施までの年月が長いので、その間はどうするのか。
- ・「施設一体型」になるまではやはり三鷹市のように自転車で移動が必要になり却って負担が増えるのではないかと。
- ・小学校の先生方が中学校での授業でどんな役割を担っていくのかがポイントだと考える…。単にTTのような参加であれば、小中一貫でなくても人員配置を各小・中学校で行えばよいことだと思う。
- ・教員の共通理解
- ・ない、特になし、分からない等（26人）

Q 7 「小中一貫教育」で「小・中学校での相互乗入授業」を実施する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）

キ その他（ ）

- ・教員の負担の増大等（11人）
- ・教員免許の違い（2人）
- ・生徒指導のやり方の違い
- ・中学生に小学校教員が指導できるのか。
- ・小学校の教員とは思想や文化が異なることが多いため、面倒なことが増える。
- ・中学の教員は小1～6年まで教えられるが、小学校の教員は中3の授業で受験を見据えた指導ができるのか。
- ・小中での授業時間が違うので、その調整は難しいと思う

- ・体験授業を充実させていく方向が児童・生徒にとっては良いと思う
- ・「T2であれば負担が少ない」という考えがもしあれば、それは大きな間違いである。
- ・英語科が小学校へ出向く分、中学で講師対応となり、学年が大変になった事例あり。
- ・あらゆる点で課題がある。
- ・不安しかない。

Q 8 「小中一貫教育」を実施し、「児童・生徒の異年齢交流」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）

オ その他（ ）

- ・上級生になった時の見通しが持ちやすい、学習意欲が高まる等（2人）
- ・現在の取組で十分効果がある（3人）
- ・小学校高学年のリーダー性の喪失（2人）
- ・先輩としての意識向上
- ・小学校においても様々な体験がすでになされていると思う。それは、小中をまたいでもその体験は生徒自身の経験として残っていくと思う
- ・学校の施設環境にもよるのでは？
- ・ない、特にない、分からない等（24人）

Q 9 「小中一貫教育」で同じ学校内で「児童・生徒の異年齢交流」を実施する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）

キ その他（ ）

- ・人間関係の固定化や中学進学時の気持ちの切り替えができない等、気持ちの面での弊害等（6人）
- ・小学校5、6年生の高学年・リーダーとしての自覚の喪失等（4人）
- ・教員の負担の増大（2人）
- ・小中でやりたいことが違うと思うので、限られた時間の中でその調整をするのが大変
- ・選択肢ア～オの効果はあると思うが、交流することのデメリットも多い。生活指導増、負担増
- ・体育祭や小中合同行事など。
- ・小学校の時の友人間トラブルや不安が中学になっても解消されないと思います。
- ・年に数回だから新鮮味があるが、毎日同じ校舎内ではお互い気を遣い、特に後期課程（中学生）がのびのびできないのではないかと。
- ・上級生との交流に苦手意識を持つ児童・生徒にとっては苦痛な時間が増え、学校へ登校したくないと思うのでは。
- ・小学校から中学校に入学したことによる気持ちの切り替え。「小学校でココがダメだったから中学校では頑張ろう」とか。

- ・一度こじれた人間関係は、今までは中学校入学でリセットできたが、小中一貫だとどうなるのか。
- ・中学校に入ってやり直そうと思っている子どもにはどうなのか？
- ・トラブル
- ・体格差による身体接触等による事故
- ・外敵のいない9年間で抵抗力、順応力のない人間になる
- ・中学生は望んでいない。学ぶことがない。
- ・ワルい中学生がいると小学生への伝染が早くなる。
- ・部活動や日常生活での縦のつながりにおける礼儀等が、一切身につかなくなる。小学校の児童と教員の接し方を見ていればそれが明らか。
- ・年に1回等なら可能かもしれないが負担は大きい（既に生徒会は各小学校を訪問している）
- ・小中別々に行う部分、一緒に行う部分を上手に取り入れないと、6年生に育つ最高学年としての意識が薄くなってしまわないか。体格、発達段階の違いをどうとらえ、うまく交流させていくか。
- ・不安しかない。
- ・効果はない、わからない等（3人）

Q10 「小中一貫教育」を実施し、「9年間を通したキャリア教育や進路指導」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）

カ その他（ ）

- ・職場体験が9年間の中で1回で済む。現場の方への迷惑、負担が減る。
- ・現在十分可能性を持ってできている。
- ・9年間は長すぎて見通しが立ちにくい。
- ・ない、特になし、分からない等（23人）

Q11 「小中一貫教育」で「9年間を通したキャリア教育や進路指導」を実施する場合の、不安や課題は何ですか？（複数回答可）

カ その他（ ）

- ・現状でも中学校では総合の時間、進路学習、学校行事に追われている。
- ・上級学校に順応できなくなる
- ・現在行っている小中での取り組みを充実させていけば、児童・生徒にとってはそれが一番良いことだと思う
- ・9年間人間関係が変わらないことから、私立中学や中高一貫都立学校への進学は増える。
- ・小学生の頃から進路指導を重視しすぎると、保護者の不安をあおってしまうのではないか。受験が過熱しないか懸念を感じる。
- ・1年生からどのように系統だててやっていくのかわからない。

- ・児童は実感が湧かない。
- ・不安しかない。
- ・職場体験の実施は、小学校段階になるのか？受け入れる側の認識はどうか、確認が必要。
- ・「小中一貫教育」「9年間を通したキャリア教育や進路指導」と言わなくても、現在の取組で十分できている。
- ・卒業後の進路先（新たな集団）で大きな壁を経験することが多くなると思う。
- ・中学受験をする児童への指導
- ・上級学校進学への不安が緩和されることで努力しなくなる。
- ・中学受験がうまくいかなかった者が、気持ちをリセットして中学部？で生活できるのかどうか。
- ・6歳と15歳の年齢差

Q12 「小中一貫教育」を実施し、「小学生の部活動参加」を行うとしたら、何年生から参加することが適切だと考えますか。（1つのみお答えください）

オ その他（ ）

- ・小・中学生で体格が違うので小学生の部活動参加は不適切（7）
- ・部活動に対する目的がクラブ活動とは異なるため小学生の部活動参加は不適切（3人）
- ・大会への参加を考えると小学生の部活動参加は不適切（2人）
- ・参加なし。安全管理ができない。
- ・部活の教育課程での位置づけがはっきりしていない中で部活を考えるのはどうか？
- ・<運動部>小学生と一緒にすることで中学生の運動量が減る。ボールの大きさやゴールの大きさも違う。
- ・小学校の先生方が責任をもって協力してくれるのであれば、どの学年からでも可能ではないか。
- ・今のままで手いっぱい。
- ・適切な学年はない、参加に反対等(25人)

Q13 「小中一貫教育」で「小学生の部活動参加」や、部活動の継続的な実施に向け、必要なことは何ですか？（複数回答可）

オ その他（ ）

- ・教員や顧問の増員・教員の負担減少等（6人）
- ・部活動の外部委託・地域スポーツ化等（4人）
- ・一校ごとにチームを組めるだけの人数を継続的に確保すること等（3人）
- ・安全面で小学生の受け入れに不安がある（3人）
- ・運動部の場合、体力差、体格差がありすぎて危険を感じる等（2人）
- ・小学校での行事をバツサリ削らないと部活の時間は確保できないし、教員の負担は増になる。

- ・中体連の方針の転換。外部指導員が入っても引率などは教員が負担。
- ・第二校地への移動後の生徒対応など連携をどうするか？
- ・小6の後半、中3が部活動を終えたとき
- ・保護者や子どもの、部活への期待が過度にならないよう、前もって理解してもらうこと
- ・中体連との関係上、小学生の部活は別の活動と考えてよいのでは。特に運動部などで、中学での大会や試合のために小学生段階から児童を鍛えるといった指導がされることを排除できないのではないかと思う。その意味で小学生の部活参加は心配である
- ・部活の位置づけを明確にした上で議論を深めるべき。
- ・特別勤務手当の改善
- ・途中で部活動を変えられる制度づくり
- ・部活指導の一貫性
- ・ボール、ゴールの大きさ等を合わせる（例：サッカー、バスケ、バレー）←異なるままであれば一緒に行く必要はない。
- ・ない、わからない等（11人）

Q14 「小中一貫教育」を実施し、「9年間を通した特別支援教育」を推進すると、どのような効果があると思いますか？（複数回答可）

オ その他（ ）

- ・現在の取組で十分効果を得られている（2人）
- ・小学生時代に支援を受けていなかったけれど中学生時代になってから問題が発生した時に、小学生時代のことが知れるという利点
- ・特別支援教育ならではの方針があると思う。
- ・ない、特にない、分からない等（15人）

Q15 「小中一貫教育」で「9年間を通した特別支援教育」を実施する場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）

カ その他（ ）

- ・教員の負担増大（2人）
- ・発達の課題にあった指導、全体の把握が難しくなるのではないかな等（2人）
- ・どう負担を減らしていくのか等（2人）
- ・交流活動をどのような位置づけで行うのか。授業時数や総合の扱いなど現中学校に突き付けられている課題すら解決が難しいのに、小学校と共同のものをどうこなしていくのか。
- ・早い段階で支援が必要か判断することができれば効果的だが、支援が必要であるのにも関わらず、9年間同じ人が見ていると見過ごしてしまう危険もあると思います。
- ・支援対象が小学生の時に固定化し、中学生から支援を受けたいと思う機会が減少する（子どもの気持ちや親の気持ちから）

- ・人的な手当てが保障されていない中、個人（教員）や組織への負担が増えるのではないか。
- ・交流活動とは何の？通常級と特別支援、特別支援上級生と下級生
- ・児童・生徒に小中の違いを味わわせることは多様な価値観を育むうえで重要。
- ・いじめられる子は9年間いじめられ、転入者は疎外感を持ち続ける。
- ・現在の取組を充実させていくことができれば不安はないと思う
- ・通級指導教室に変わるのですが、その点はどのような仕組みになるのでしょうか。
- ・わからない、メリットがわからない（2人）

Q16 「小中一貫教育」を実施し、「スクールソーシャルワーカー」や、教員以外で学校と地域との連携を推進する「地域担当職員」などの支援スタッフを各校に配置することは、教育相談体制や地域との連携を充実する効果があると思いますか？（1つのみお答えください）

エ その他（ ）

- ・どのようなスタッフがどのような役割を担うのかによる等（8人）
- ・現在の取組で効果が得られている（4人）
- ・効果はない、分からない等（7人）

Q17 Q16の取組を行う場合の不安や課題は何ですか？（複数回答可）

オ その他（ ）

- ・増やすならば、30人学級にして正規の職員を増やしてほしい
- ・想像できない。
- ・管理職の認識次第で効果が変わる心配
- ・ボランティアなのかお金が出るのか。
- ・小中の職員と支援スタッフとの共通理解が難しい。
- ・小中一貫にすることでメリットが増すことはない。
- ・メリットが分からない

Q18 現在、武蔵野市が小中一貫教育を実施する場合は、「小学校区ごと」に「施設一体型義務教育学校」を設置することを考えています。その場合、空き校地を義務教育学校の「第二校地」として活用することを考えています。「第二校地」ができた場合、どのように活用できると思いますか？（複数回答可）

カ その他（ ）

- ・活用できるかどうかは距離による等（2人）
- ・将来を考えて未来的近代的な施設を準備することが必要。
- ・空き校地ができるとは信じられないが、あれば特別支援教育の充実に活用する。
- ・市としての障害児教育に特化した学校（都の特別支援学校のように）

- ・分からない (20人)

Q19 「第二校地」を活用する場合の不安や課題は何ですか？(複数回答可)

カ その他 ()

- ・移動中、活動中の安全管理等 (7人)
- ・移動に時間がかかり授業では活用できない等 (3人)
- ・特に選択肢イの点で心配である。小学生はほとんど利用できなくなり、第二校地はやがてなくなってしまうということになるのではないか
- ・目的と合致した環境が得られるかどうか。
- ・第二校地の管理は学校と切り離さないと副校長先生の仕事がまた増えてしまいます。
- ・災害時の児童生徒の安全確保もきちんと考えないといけないです。
- ・何校かで使用することになると更に大変になるのではないか。
- ・メリットが分からない

4 アンケート記述欄の概要

(1)各設問の記述 —高校生・大学生—

問1 あなたは、小・中学校生活の中で、どんなことに挑戦したり、積極的に取り組みましたか。(複数回答可)

6 その他 ()

- ・習い事
- ・学校に行くこと←理由：いじめで学校に行くことが難しかったため。
- ・生徒同士のグループディスカッションの授業での司会

問2 これから新しくできる学校に、どのようなことを望みますか。(複数回答可)

7 その他 ()

- ・あらゆることに取り組み、学ぶための環境づくり
- ・高校、大学、就職と、それぞれの将来像がつかめるよう、様々な交流、体験ができるようにしてほしいと思います。
- ・外部を知る機会をつくること (後述します：118 ページに掲載)

問3 以下の活動のうち、自分が通う小・中学校にあったとしたら放課後に参加したかった活動はありますか？(複数回答可)

5 その他 ()

その他の回答なし

問4 「これからの武蔵野市の教育や学校をどのようにしていくか」を検討した結果として小・中学校を一つにして施設一体型義務教育学校が設置された場合に、どのような課題が考えられますか？(複数回答可)

5 その他 ()

- ・選択肢1の、人間関係のみならず、初めて会う人に出会い養われる能力全て。
- ・プールや体育館、校庭など、授業や休み時間で利用者が飽和するのではないか。第二校地があっても移動することが負担になりそう。
- ・いじめが起きた場合どうするのか？
- ・中高一貫校への価値観やその他細かい事(制服・受験など)
- ・9年間同じ友人関係で育ち、ここから出た時に友達の作り方が分からないのでは。
- ・コミュニティの狭さ、外部に出た時のギャップ

問5 「これからの武蔵野市の教育や学校をどのようにしていくか」を検討した結果として小・中学校を一つにして施設一体型義務教育学校が設置された場合に、どのようなことが実現できるとよいと思いますか？（複数回答可）

5 その他（ ）

- ・ 特別支援などがより活動的に、簡単になったりしそう。→引継ぎや親側の意見
- ・ 合同行事

4 アンケート記述欄の概要

(1)各設問の記述 一児童・生徒—

それぞれの項目の記入が複数人あった場合は、項目の後ろに括弧書きで記入された数を記しています。

【小学生】

問1 あなたは、ふだんの学校生活の中で、どのようなことに挑戦したり、がんばったりしていますか。(いくつ〇をしてもかまいません)

6 その他()

- ・ノートを分かりやすく書く、宿題、ノートをとる、成績をよくする
- ・吹奏楽、普段あまりやらないスポーツ、クラブ活動
- ・普段遊ばない人と遊ぶ、友達に思い切って話しかける、困っている友達を助ける、友達と協力する、協力して掃除をする
- ・発言をする、実行委員などの重要な役割に積極的に参加、自分の役割や責任をしっかり果たす、積極的に手を挙げる

問2 これからの武蔵野市の学校では、どのようなことができるとよいと思いますか。(いくつ〇をしてもかまいません)

問3 問2で〇をしたこと以外に、「こんなことができるといいな」と思うことがあったら書いてください。

願い・希望など

<学習>

- ・教室や図書室等の学習環境の充実(3)、調べ物の環境充実(3)
- ・PC・ICT機器・タブレット等の活用・増設等(23)
- ・教科担任制(2)、読書活動の充実(2)、少人数指導の充実、英語授業の増加、応用問題を解く、勉強が楽しくなること
- ・苦手の克服(4)、考える力、積極的に挙手できる環境、英語以外の外国語学習(2)、プログラミング、宿題の音読の廃止、宿題を減らす

<交流・活動>

- ・自然体験(動植物の観察、動物の飼育、耕作等(外6件)、体験活動や校外活動等(5)、文化祭、学校に宿泊、百人一首、様々な経験
- ・異学年交流(行事、合同給食等(外6件)、地域との交流(話を聞く、助け合う(2)等(外5件)、他校との交流(4)、同学年交流(3)、友人との協力(3)、中学校との交流、障害児や特別支援学級の児童との交流、思いやりの心、優しい言葉をかける
- ・運動やスポーツ活動の充実(5)、機会や質の面でクラブ活動の充実(3)、専門的なスポーツ活動

<生活>

- ・制服の導入(5)、指定靴の導入
- ・いじめや喧嘩の対策(4)、相談室の充実(2)
- ・好きなことの活性化
- ・毎日バイキング給食(2)、給食メニューの選択(3)、ランチルームの常時使用、弁当持参日
- ・決まり事について (シャープペンシルの使用(3)、休み時間を長く(2)、自転車通学、ローラーシューズ通学、ローラースケート通学、晴天時に屋内で遊ぶ、サンダルやブーツの着用、屋上利用、テレビ放送、サッカーゴールをクラスごとに割り当てを決めて使う)
- ・早い時間の下校、登下校時の安全、移動を楽に

<施設・設備の充実>

- ・第二体育館、食堂(3)、更衣室(3)、更衣室の拡張、更衣室にエアコン(2)、体育館にエアコン(3)、廊下にエアコン、温水洗面所、学校のリフォーム、温水プール(7)、室内プール(3)、50mプール、お湯のシャワー(2)、ウォータースライダー、芝のグラウンド(4)、ホワイボード、ゲーム等で遊べる場所、自習室、遊び道具を増やしてほしい、ブランコ、からくりドア、プールの拡張、校庭の拡張(2)、教室の拡張、体育館の拡張、エレベータ(3)、エスカレータ(5)、温水洗浄便座、教室にトイレや洗面所、階段の段差を低く、掃除機、学習のためのいろいろな道具や機械

不安など・その他

- ・テストをポイント制にして賞品を獲得、義務教育の廃止
- ・小中一貫教育を実施しない
- ・ない、特になし等(37)

問4 放課後に、学校で色々なことができるとしたら、どのようなことをやってみたいですか？ (いくつ〇をしてもかまいません)

問5 問4で〇をしたこと以外に、「こんなことをやってみたい」と思うことがあったら書いてください。

願い・希望など

<学習>

- ・学校で宿題をする(6)、分からない問題を聞く(10)、塾の宿題をする(4)、応用問題に挑戦(2)
- ・PC・ICT機器・タブレット等の活用等(20)
- ・理科の実験、好きな授業を受ける(2)、学年別に音楽の授業、学校以外の勉強、読書、国語・社会・理科の少人数指導、特別授業

<交流・活動>

- ・交流活動、異学年交流、地域交流、他校との体育トーナメント、クラスで一つのことをする(2)、普段遊ばない子と遊ぶ

- ・スポーツ（バスケ、テニス(2)、サッカー(2)、バレーボール(2)、卓球、バドミントン、プールの利用(7))
 - ・レクリエーション（鬼ごっこ、ゲーム等(外 21 件))、スポーツ大会
 - ・クラブ活動（ダンス、吹奏楽）、自由なクラブ活動（時間、活動等外 4 件）、本格的なスポーツクラブ(3))
 - ・先生と遊ぶ(3)、先生がスポーツを教えてくれる
 - ・体育でやらない遊びやスポーツ、植物を植える体験、生き物観察、料理、未来の乗り物体験
- <生活>
- ・放課後の教室や校庭等の開放(4)、PC ルームの開放(2)、相談室の充実
 - ・放課後におやつを提供(4)、音楽を聴きながらリラックス、児童の安全を第一に考える
 - ・決まり事について（晴天時の体育館利用、屋上利用(2)、シャープペンシルの使用、カラーペンの使用、音楽を聴きながら勉強、放課後の遊びを自由に、お金を持ってくる)
- <施設・設備の充実>
- ・誰でも使える学習に関して相談できる場所
- 不安など・その他
- ・ない、特にない等(46)

問6 「これからの武蔵野市の教育や学校をどのようにしていくか」を話し合う中で、小学校と中学校を一つにした今までにない新しい教育や学校の仕組みについても考えています。

もし小学校と中学校が一つの学校になったら、あなたならどのようなことをやってみたいと思いますか？（いくつ〇をしてもかまいません）

問7 問6で〇をしたこと以外に、「こんなことをやってみたい」と思うことがあったら書いてください。

願い・希望など

<学習>

- ・分からない宿題や勉強を教えてもらう(5)、中学校の勉強を教えてもらう（数学や英語等(3)）、PCを使った活動
- ・中学校の学習に挑戦(5)、難しい算数の問題に挑戦、合同授業(6)、授業見学(3)、中学校で勉強
- ・スマホアプリで勉強をする

<交流・活動>

- ・部活(3)、クラブ(2)、文化祭(3)、吹奏楽、遊ぶ(21)、体育(3)、図工(2)、掃除、学習発表会、学芸会、運動会、音楽会、展覧会、委員会、合同の社会科見学等(3)、生き物の飼育、スポーツ教室、行事（クイズ大会、相撲大会等(外 3 件))
- ・中学生と触れ合いたい、中学生が面倒に思わない程度に交流、中3が小1の世話をする

<生活>

- ・中学校生活について聞く(4)、部活について聞く、中学生の一日を見る、生徒会の様子を見る、同じ校舎で生活、中学生と同じ制服(2)

<施設・設備の充実>

- ・階段の段差をなくしてほしい、レストラン

不安など・その他

- ・良い点：いろいろな人と交流できる、悪い点：いじめやケガがエスカレートする
- ・中学生にも同じようなアンケートをとっているか？
- ・小中高大一貫校
- ・小中一貫教育に反対（小さい子が無理をする、中学進学で気持ちを切り替えたい等(外 5 件)
- ・ない、特にない等(45)

4 アンケート記述欄の概要

(1)各設問の記述 一児童・生徒—

それぞれの項目の記入が複数人あった場合は、項目の後ろに括弧書きで記入された数を記しています。

【中学生】

問1 あなたは、ふだんの学校生活の中で、どんなことに挑戦したり、がんばったりしていますか。(いくつ〇をしてもかまいません)

6 その他 ()

- ・ 苦手教科の克服
- ・ 部活動、その日の給食を覚える
- ・ 人とのつながりを学ぶ、様々な人とコミュニケーションととる(2)、言葉の選び方を学ぶ、自分の言動に気を付ける
- ・ 好きなことに専念(2)、一日一日を楽しむ、楽しいことを見つける
- ・ なし、特になし等(6)

問2 これからの武蔵野市の学校では、どのようなことができるとよいと思いますか。(いくつ〇をしてもかまいません)

問3 問2で〇をしたこと以外に、「こんなことができるといいな」と思うことがあったら書いてください。

願い・希望など

<学習>

- ・ 自習時間、自習の環境充実(3)、分からないことを先生に聞ける環境、休業日に学校で自習、図書室の充実(2)
- ・ PC・ICT機器・タブレット等の活用・充実(3Dプリンタ、プログラミング、動画で分かりやすい授業を見る等(外2件))
- ・ 英語圏以外の国の文化や言語を学ぶ、希望者は高度な学習が受けられる仕組み、科学の実験の充実、テストがなく成績がつく、理科の授業の発展・充実、自分たちで考えて動ける機会、授業が楽しくなること、教科書と問題集を一冊に統合してすぐに問題に取り組む、子育てに関する教育

<交流・活動>

- ・ 部活の充実(2)、部活の新設、いろいろな部活の体験、部活の兼部
- ・ 学園祭、講演会、小学校との合同行事(桜野小ワイワイフェスティバル)、食物の提供が可能なイベント、話し合いの機会(2)、スキー教室、いろいろな楽器の体験
- ・ ボランティアでのゴミ拾い
- ・ 他校との交流(3)、中学校見学、男女仲良くする、いろいろな人との交流

<生活>

- ・多くのイベント
- ・いじめの撲滅
- ・温かい給食
- ・生徒がやりたいと思うことを積極的にできるようにする、寝る時間
- ・決まり事について（私服通学、自転車通学、靴下の色や柄を自由に、学校に食べ物や塩を持参できる、スマートフォンを持参できる）

<施設・設備の充実>

- ・エレベータ、新しい机、校庭にライト、部室、体育館にエアコン、誰でも利用できる運動施設、黒板をホワイトボードに

不安など・その他

- ・小中一貫教育に反対
- ・空を飛ぶ
- ・ない、特にない等(15)

問4 放課後に、学校で色々なことができるとしたら、どのようなことをやってみたいですか？（いくつ〇をしてもかまいません）

問5 問4で〇をしたこと以外に、「こんなことをやってみたい」と思うことがあったら書いてください。

願い・希望など

<学習>

- ・全教科の勉強会、分からないことを聞く(2)、自習(2)、休業日に学校で自習、休んだ日の授業を受ける
- ・PC・ICT機器・タブレット等を使う活動(4)

<交流・活動>

- ・部活動(2)、部活動の新設（美術部(外2件)、他の部活動への体験入部(2)、他の部活動との交流、他校部活動への体験入部
- ・レクリエーション（鬼ごっこ、パーティ等(外4件)）
- ・校内で友達と話す時間、ボランティア活動

<生活>

- ・ゲームをする、アニメを見る

<施設・設備の充実>

- ・部活専用の広いグラウンド

不安など・その他

- ・楽しい部活動が見つからない、今までどおりの部活動がしたい、選択肢に部活動がないのが疑問

- ・したいことは今の中学校でできている、問4の選択肢にあることは、既に全て同じようなことをしている
- ・ない、特にない等(18)

問6 「これからの武蔵野市の教育や学校をどのようにしていくか」を話し合う中で、小学校と中学校を一つにした今までにない新しい教育や学校の仕組みについても考えています。

もし小学校と中学校が一つの学校になったら、あなたならどのようなことをやってみたいと思いますか？（いくつ〇をしてもかまいません）

問7 問6で〇をしたこと以外に、「こんなことをやってみたい」と思うことがあったら書いてください。

願い・希望など

<学習>

- ・小学校の学習で分からないことを小学校の先生に教えてもらいたい、小学校学習の復習
- ・小学生が中学生の授業を見学、中学生が小学生を教える
- ・英語の授業を小学校の早いうちから始める

<交流・活動>

- ・学園祭、運動会、小学生に何かを作ってあげる
- ・全市で交流、レクリエーション（人間すごろく、鬼ごっこ等(外2件))、小中合同でゲーム

<生活>

- ・制服をつくり、小・中学生で色分けをする
- ・通学距離が長い児童は中学生も一緒に集団登校

<施設・設備の充実>

不安など・その他

- ・一貫校にするなら中学校区に合わせてほしい
- ・部活動は体力差があり心配
- ・中学生の負担が大きくなる
- ・自分が小学生なら、中学校の先生の授業はいつきに真面目になるので受けたくない
- ・アンケートに小中一貫に反対する選択肢がない
- ・小中一貫教育に反対(メリットを感じない(5)、デメリットが大きい、新たな出会いがない(5)、環境が変わらない、中学進学で気持ちを新たにできる機会がなくなる(2)、メリハリがなくなる、中1ギャップは必要、授業や受験の妨げになる(3)、上下関係が薄れる(2)、小・中学校それぞれで違う良さや学ぶべきことがある(2)、母校がなくなるのは嫌、体格差があり危険(2)、学校ごとの文化が壊れる(2)等(外15件))
- ・ない、特にない等(17)

4 アンケート記述欄の概要 (2) 自由意見欄 一市民一 【未就学児保護者】

第一小学校区

- ・いい所もあれば、悪いところもあるのでどっちがいいってよくわからないんですけど、私は賛成です。でも、子どもに選ばせてあげたいとも思います。
- ・子どもが混乱しないような教育をお願いいたします。
- ・現在の全小学校が、小中施設一体型になる場合の住所（移動があるのかないのか）、建替えは何年度から完成年度まで、具体的プランを出してほしい。そのことが、本議案について賛成・反対そのものの判断材料になる場合もある方は相当数いると思う。個人的には、小中一貫教育のメリットの方が多くあると感じた。
- ・現在市が抱えている問題としてどういうものがあるのか、それを解決するためになぜ小中一貫が良いと言えるのか、分かりにくく思いました。これについて、実際に小中一貫を実施している学校の関係者の意見を事例にしつつ、メリット・デメリットを定量的に紹介いただければ検討しやすいと思いました。
- ・この様な場が設けられることが、とても良いと思います。周知は難しいと思いますが、ぜひもっと多くの方に知っていただき、多く参加いただけたら素敵だと思いました（私の周囲の方には、残念ながら認知されていないので…）。検討結果を、もっと地域の小学校などで発表する等していただくのも良いと思います。

第二小学校区

- ・これから改築を必要とされていく中で、早めに方向性を決定しなければいけないのでしょうか、平成 27 年から度重なる検討を重ねていかれてのことだと思いますが、子どもにとって何が一番大切かを熟考のうえ、結論を出してもらいたいと思います。
- ・情報があふれ多感な 9 年間でまったく同じメンバーで過ごすことの難しさ…学習面や体力面の差をどうフォローしていくか…期待しています。
- ・一貫校のメリット、デメリットの両方を知ることができました。又、保護者のみならず、現場の先生方の意見を生かしてほしいと思いました。
- ・もっと周知の仕方を考えて下さい。

第三小学校区

- ・あまり難しいことは分からず、特段の意見もなく、プロ（皆様）にまかせれば安心なのかなあと考えています。
- ・子どもは正直で素直な反面、よく大人を見ていると思います。まずは一親として子どもをよく見て、これからの世界（世の中）を生きていける力をつけさせていきたいと思っています。

- ・本日はありがとうございました。
- ・小学校の敷地を拡張されるのであれば小中一貫教育も可能だと思うが、第二校地も活用するのであれば経費節約にはならないと思う。小中一貫校だけではなく保育園や幼稚園の場所も同地に考えることはできないのかと思う。小中一貫を検討することよりも、まずは待機児童ゼロを目指してほしい!!
- ・「武蔵野市民の現実のニーズに基づいて生まれた方向性」というものが感じられない。国や都からの圧力ではなく、どこまでも市としての誇りをもって立ち向かってほしい。保育園、幼稚園の不足に代書できない今の市政は情けない。3人の子どもの親が、武蔵野市を出て杉並区に住み、「良かった」と言っているのが良く分かる。

第五小学校

- ・20～30年のスパンの案なので、良い案は短いスパンで実行してほしいです。

大野田小学校区

- ・全く知識がなく今まででしたが、子どもに関わるとても重要なことだと思い、これからも続けて考えていきたいと思いました。
- ・よりよい学校になることを願っています。
- ・小中一貫教育を考えた場合のメリット等を知ることができ、勉強になりました。しかし、それ以上に先進的な改革なので、現場の子どもたち、先生方がどうなのか…ということに危惧しています。
- ・デメリット、メリットを生かした方法があれば良いと思います。
- ・小中一貫教育になった場合9年生まであり、職員室が一つになるということで教員の目の届かない場所が増えるのではと思い、いじめにつながらないか心配。どんなときも教員が子どもに配慮できる環境であってほしい。
- ・たくさん話せてよかったです。言い切りました。
- ・支援を要する子どもたち、放課後の居場所等についても、多く議論していただきたいです。子どもたちの気持ちや、現場の先生が楽しくなれるような学校づくりを期待します。
- ・市民にわかりやすい（丁寧な）説明のプロセスをお願いします。

境南小学校区

- ・いちばん大切なのは「開かれた教育」です。
- ・「いじめ」のない学校を目指した活動・環境づくりをお願いします。
- ・いじめのない活動を頑張ると、そこからおのずと取り組まねばならない環境づくりができ、ひいては学力の向上につながる、人格形成に良い、と考えます。
- ・人、モノ、お金の資源は限りがあるため、有効活用につながる施策は賛成です。

【未就学児保護者】

- ・小中一貫の規模と立地予定の場所を知ると、やはり今の環境より詰め込むような状況になると予測されます。子どもたちが新たなルールができて、窮屈な思いをするのでは、と心配しています。
- ・「小中一貫ありき」でなく、検討に検討を重ねて「武蔵野市の方針」をつくりあげてほしいです。保育園としては、1月16日(火)に全父母にメールがきました。もっと早く周知してほしいです。
- ・小・中学校を一つにまとめるにあたり、ハード的な課題(スペースの問題、居住空間を分ける等)は、ルールや制度で解決可能かもしれませんが、ソフトの問題(いじめを受ける子が逃げられなくなる、性犯罪につながる)等のケアをする必要があると感じました。

本宿小学校区

- ・前期6年と後期3年が分かれているなら、今の小・中学校と変わらないのでは?とイメージして来ましたが、連携によるメリットもあることが分かりました。
- ・ただ、小中一貫の場合、低学年の子どもと高学年の子どもの知力、体力の差が大きいので、校庭・施設の共有方法など、困難な課題は多く、検討には慎重さが必要と思いました。
- ・小中を一貫教育にすることのメリット、本日お話を伺うまで何がメリットなのか全く思いつきませんでした。施設や先生、スタッフの方々の問題等の課題があることがわかり、勉強になりました。
- ・本日、体調が悪い中参りました。説明の途中、「今ここです」とご指摘をいただきましたが、自分の子どもに関する部分の話でしたので見比べて真剣に聞いていたところでしたので、聞いていないようにみえていたのなら、大変失礼致しました。
- ・小中一貫教育に希望を持たたという方もいる中、私自信はどうしても不安が払拭できず、我が子の在学中に実施されそうにないことに安心してしまいました。
- ・6歳~15歳が在籍する学校で年齢や悩みが違う子どもの対応を1人の校長先生が受け止められるのか…連携は良いことのように思えますが、先生の負担が大きくなりきめ細やかさに欠けるのではないかなど。
- ・保護者や子どもに不安をなくし、実施していただきたいと思います。
- ・小・中学校のあり方などを考える良い機会となりました。
- ・学校教育の質を上げるためにも、早期に取り組みを開始して、将来を見据えた施策の実現を期待しています。

千川小学校区

- ・大変わかり易い説明でした。
- ・市が考えるデメリットも公表してほしいと思います。
- ・メリット、デメリットの双方を皆で共有し、意見を聞いたうえで、決定していただきたいです。

- ・子どもたち、教員の方々、親、そして市民全体が協力して次の世代に知識と学力、思いやりの向上が続く取り組みにしていきたいです。

井之頭小学校区

- ・参加してよかったです。知らなければ賛成も反対もできないので。大づかみに見ると一貫の方向性に新たな可能性を感じました。限りある財源の中で、最大限に子どもの教育環境を整えようとしてくださっていることが伝わりました。ただ、最終的には「人」が重要だと思うので、現場で働く先生方が「一貫への移行は大変だけれど、社会の仕組みをいい方向に変えていけるんだ！」と前向きに考え、面白がられるようなプランが提示されたら素敵だなと思いました。
- ・現状の課題や、連携教育と一貫教育のメリット・デメリット、今までの検討内容等をもっと詳しく教えてほしかった。双方にメリット・デメリットがあり、双方のメリットを全て満たすのは難しいと思うので、行政として決定した教育の中で、最善の対応をしていただきたく思います。
- ・理想はよいとしても現場の先生が迷ったり混乱したりしないやり方を考えていただきたい。これによって、小中それぞれに専門性を持っている先生が、もっと幅広い能力を求められることによるさらなる負担でつぶれないようにしてほしい。

関前南小学校区

- ・子どもたちと先生方が Happy になること
- ・それが継続されること
- ・部活動についても、問題があると感じています。教員が時間外労働で対応することを強いていると思いますので、一貫にしろ、そうでないにしろ、外部からの協力が必要と思います。
- ・共働きが増えており、学校への協力（PTA）を負担に思う点も多いです。必要な労働は PTA ではなく学校予算でやっていただきたいと思います。これも、一貫にするしないにかかわらず、学校と保護者との関わり方は見直す時期と感じます。

桜野小学校区

- ・小中一貫校になった場合の特性等、知ることができ参考になりました。理想的な取り組みも多々あると思いますが、小中一貫校になる前に卒業する児童についても差が出ないように、きめ細かい取り組みをお願いしたいです。
- ・近年、発達障害の方など、病名がつく子が増えてきていると思います。
- ・小・中学校の先生方も知識を持っていただき、より個々に見合った学習への取組等もご検討いただきたいと思います。
- ・本日はありがとうございました。武蔵野市小中一貫教育調査研究ワーキングチームにおける論点整理に至る議論の経過のすべてを公開してください。よろしくお願いいたします。

【未就学児保護者】

- ・意見交換の前に質問を共有してほしかった。
- ・一体型によって物理的に切り替えができないために、人間関係がこわ着し、いじめが継続したり、中学生の悪い面の影響を受けることへの不安が解消されていない。
- ・数値データ、校舎（仮）見取り図などが無いと具体的にイメージできませんので、ご準備いただけると幸いです。

小学校区未記載

- ・子どもたちや先生たちによりよい環境を作るために、よろしくをお願いします。
- ・多様な子どもたちが共に過ごせば学びは広がっていくと思います。小さくなりすぎるのは心配かもしれませんが、丁寧に、1人1人の力を生かした教育をしていれば、大きな世界でやっていく力もついていくのではないかと個人的には思い、9年間の一貫に期待したいと思います。

4 アンケート記述欄の概要

(2) 自由意見欄—市民—

【小・中学校保護者】

第一小学校区

- ・どちらかへの移行を決めるのは簡単なことではなくやはりメリットデメリットがあるとは思いますが、どちらになってもデメリットを解消できる、子どもたちにとってよりよい方策が選ばれるよう見守っていきたいと思いました。
- ・一体型にしたときの校舎の様子や建物などが具体的に示されると考えやすいのかなと思います。

第三小学校区

- ・小学校から中学校への進学も大切ですが、保育園（幼稚園）から一年生へあがるときの心配も親として大きいです。新一年生が安心安全に過ごすことのできる場所をお願いします。

第五小学校区

- ・小中一貫校を検討する理由の1つとして中1ギャップがあると思いますが、私はギャップがあってもいいのではないかと思います。
- ・大切なのは子どもが大人になり社会に出たときに困らないようにすることだと思います。
- ・子どもから困難を取り除くのではなく、子どもがその困難を乗り越えられるように育てることだと思います。よって、小中一貫校には反対です。
- ・小中一貫教育の主なメリット・デメリットは以下と感じました。
 - ・メリット：予算削減
 - ・デメリット：校庭や校舎の確保
- ・これまでの学校教育をアレンジしていく方が良いと感じました。現状の校舎の老朽化対策も安全面と子どもたちの意見を聞きとり、速やかに対応してほしいと思います。例) 五小や関前南小の体育館のバスケットゴールや床など。
- ・現在子どもたちがお世話になっている五小・五中の教育体制。公的教育としては極めてレベルが高く、これから今のレベル、そしてコミュニティとのかかわりが今日伺ったお話を聞く限りでは学校の規模が大きくなり、これまでのような教育が受けられなくなる可能性を危惧しました。

【小・中学校保護者】

境南小学校区

- ・武蔵野市の小中一貫教育の考えを知ることができてよかったです。様々な意見があると思いますが、これからの子どもたちのために進めてください。
- ・私自身はどの小学校でも中学校でも同じような環境で育ててもらえたら良いと思います。人数や学習力など。
- ・今回初めて小中一貫教育についての説明会に参加いたしました。まだ検討段階であり、具体的な時期が決まっているものではないのですね。これからの経過が分かるよう、このような機会をつくっていただければ幸いです。ありがとうございました。

本宿小学校区

- ・新しい試みなので不安しかありませんが、意見しましたように、中学校の規模が小さくなってしまうこと、それによりこの本宿地区ではますます私立に流れてしまうのではないかということを危惧しています。
- ・現状でも満足しているので、あえて9年間の指導というものにメリットを感じません。建物の建替えだけでいいのでは…。
- ・しかし、もし決まったとしても、より良い学校づくりをしていただきたいと思います。

井之頭小学校区（現在は私立に在学中）

- ・実体験のカリキュラムを9年の中で考えていただきたい。（生命の大切さを体験を通して学ぶ etc.）

関前南小学校区

- ・不安が大きく、小中一貫教育には反対です。もう少ししていねいな説明会、資料作成をお願いしたいです。

桜野小学校区

- ・第二校庭→桜野小は旧桜堤小を第二校庭として使用していますが、「車道を横切らないと移動できない（シルバーさん等の見守りが必要）」事や、隣接している二中の中間・期末テスト中は騒音を気にして使用できないなど、足かせがある状態です。車道一本挟んだだけの桜野でこうなのですから、第二校地が離れている学校や、もし施設一体型小中一貫学校になった場合の校庭の運用など（そもそも一校あたりの校地が狭い）、「本当にこれでやっていけるのか？」のシミュレーションをしたのか、疑問です。
- ・あと、義務教育学校制度に変更することと、施設一体型小中一貫教育を行うことと、公共施設等総合管理計画は離して考えるべきだと思います。現役保護者の皆さんの疑問を払しょくできれば、この計画も少しは進むのではないのでしょうか？

- ・校庭が狭くなるので反対です。メリット少なすぎデメリット多すぎです。小学校5、6年に専任いません。教科書薄いし、簡単だから。
- ・それより中学の内申が進路に点数化されるので、中学の先生は受験を意識し、1年から3年まで集中してほしいですね。
- ・小中一貫校開設ありきで話を進めるのではなく、幅広い意見を聞いてほしいです。他の自治体等での一貫教育校によるメリット・デメリットをよく分析して検討してください。小中一貫（施設一体での）は失敗だった…と後にならないように…。
- ・子どもたちのために、もっと深い議論を起こせるような問題提起をお願いします。
- ・「これからの武蔵野市の学校教育」の図の対比のさせ方が、どうして一項目ごとに対になってないのか？と思い、両項を見比べてみました。あまり違う点がないのですね。比較できる部分が少ない。「知」の項目については特に、所詮、学習指導要領どおりにやるしかなく、文科省が完パケでつくっているものを変にこねくりまわし、現場の教員を混乱、疲弊させてしまうのではないのでしょうか。
- ・そもそも他の公立校は小中一貫校にせず、学習指導要領どおり各学年ごとに指導をしているわけで、それが足りない、そのやり方では高められないというのであれば、それは武蔵野市独自で動くのではなく、文科省がすべき仕事ではないのでしょうか。もし文科省ガン無視でやってやろうという根性があるのであれば、小中一貫ではなく、一学級の人数を25名以下におさえるなど、ある程度効果があると分かっている対策をすべきと考えます。
- ・現在の中学生は2～3小学校から集まることにより、そこでの新しい「出会い」の場が用意されているが、小学校区に1中学校ということは、9年間メンバーが変わらないことになってしまう。「中学生が一番必要と感じるスキルがコミュニケーション能力」と冒頭説明があったが、その機会を失くしてしまうことへの対策は考えられていますでしょうか。

4 アンケート記述欄の概要

(2) 意見欄一市民一

【関係団体（学校関係）】

第一小学校区

- ・市民からの話を聞くことも大切ですが、現場の先生方の意見を一番にしてほしい。小学校区に分けることはすごく良いと思います。
- ・7年生～9年生の制服がなくなる(?) いいと思う。成長期で服も大変なので。早く進められるといいと思います。

第二小学校区

- ・まだまだ、会を重ねる必要！自分の思っていることを言えたテーブルでした。

第三小学校区

- ・デメリットをメリットに変えるための検討を今後の委員会に期待します。
- ・未来の子どもたちのために武蔵野市の教育が小中一貫教育で良かったと言えるよう、もう少し検討する必要があるのでは。

第五小学校区

- ・より良い教育をするための工夫も必要だが、子どもたちの学びの場、生活の場として、最低限の環境を担保するという視点も必要だと思う。

大野田小学校区

- ・グループに前向きな意見が多く、いろいろ考えさせられた。私自身は、もう少し実施校のメリット、デメリットなどしっかり知りたいと思った。
- ・9年間同じメンバーという環境が子どもたちに良いのか悪いのか…自分の孫世代になると思うので、より良いものになってほしい。

本宿小学校区

- ・メリット、デメリットを出し、デメリットをメリットに変える取り組みが必要。やらないで心配するより、やってみて努力、協力が必要では。
- ・世の中の今後の急激な変化を、もう少し説明するとわかりやすい。
- ・小学校低学年から専科の授業が受けられる、異学年交流がしやすい、小・中学校の先生方の連携等、小中一貫のメリットは大きいと思う。法改正により、他の自治体は既にスタートしているので、それを参考に、武蔵野市らしい小中一貫校を望みます。

千川小学校区

- ・すべては「子どもたちのために」
- ・現場の先生、現役の保護者のマイナス意見をたくさん聞いて、それをどう解決していこうかと1つ1つクリアしていけるといいですね。
- ・中央線の南側、境南地域に中学校がないことが不思議。地域の方のニーズがあるのなら初めての小中学校にチャレンジしてもいいかと思う。
- ・地域のニーズ、特性が多様の武蔵野市、それならではの形ができてくるといいですね。

井之頭小学校区

- ・小中一貫教育により、職員室が一つになることの期待と可能性が楽しみです。
- ・先生方の事務的な事を代わりにやってくれる人材を増やし、先生方が子どもたちと関わる時間を増やしてほしい。

関前南小学校区

- ・各小学校エリアによって、それぞれ実態が違うと思います。一体型がよい桜野二中エリア、分離の方がよいのじゃないか関前南、五小、五中、小中一貫は難しそうな境南。
- ・それぞれで違っていいのではないかと思います。
- ・具体的な問題が良く分からない（なぜ、施設一体型なのか etc.）
- ・もし仮に施設一体型にした場合の建設の具体的な計画はあるのですか？
- ・連携型での問題点が示されていない
- ・現在の小・中学生の意見を集約することはできませんか？
- ・提案

1 宮崎教育長のお話にあったように、これからは人口も大きく変化するし、社会全体も大きく変化すると思われる（2040～50年、施設で見れば、2100年までも考える必要がある）。したがって、持続可能な都市「武蔵野」のためには、乳幼児を含む学校教育であると考え。また、施設としては、環境の変化に対応できる自由度をもっているものであること（例えば、少人数学級（20名）への対応 etc.）

2 現在の施設一体型の学校は、中学進学率の増加、学力向上、費用削減等が言われているが、全体論議も必要ではあるが、具体的に一校を決めて実証してみる必要がある。狙いどおりでない場合にはもう一度検討しなす。

4 アンケート記述欄の概要

(2) 自由意見欄一市民一

【関係団体（福祉関係）】

第一小学校区

- ・とても大変で難しい学校教育だと思いますが、先生方の意見をたくさん聞いてほしいと思います！
- ・中高一貫教育の方が、現実には有効かと感じます。
- ・現段階で、小中が連携した教育活動が十分に行われていると思えません。小中一貫実施前に是非小中の連携を実践していただきたいと思います。
- ・第二校地の活用方法（一貫教育方式の場合）、地域スポーツクラブ等は土日に集中するが、その場合、現行のように確保できるか？
- ・校舎の問題。中学生部分の教室ができるのか。

第二小学校区

- ・小中連携教育と一貫教育の違いについて理解出来ました。どちらも長所短所があることがわかりました。
- ・施設一体型にした場合、財政的にできるかどうか、財政面での検討はされているのでしょうか。

第三小学校区

- ・これからの教育を考えると、小中一貫教育は必要なのではないかと思える。9年間という長い期間で教育を考えていくのは有効なのではないかと思えます。
- ・これまでの学校教育を進めていく場合と小中一貫教育を実施する場合の違いを比較して検討できるようなパンフレットはわかり易くて大変良かったと思う。

第四小学校区

- ・学校改築は必要だと思います。先生の減少や多様な課題を抱える子どもも多く、先生が対応することも難しいので、多くの方々との連携が必要だと思います。
- ・武蔵野市は、転校生が多いと思います。他から市内に来た子や家庭のとまどいなどが心配です。逆の場合も心配だと思いました。
- ・小中一貫教育のメリットは分かりましたが、それより中学校の規模が小さくなり、行事・部活動の活気が失われるデメリットの方が大きいような気がします。また、9年間ずっと同じ人間関係が続くことも、もしいじめなどがあった場合、より深刻になってしまうのではと思います。

- ・小中一貫にすることで生じるメリットもあるが、デメリットもあると思うので、そのデメリットの部分はどう扱い解決していくかが今後の課題になると思う。
- ・子どもにとって6歳～15歳というのはとても大事な時なので、慎重な検討が必要だと思う。
- ・小中一貫とする場合の比較が並べられていますが、机上の空論で実際には小学生1年生と中学1年生が同じ校庭・校舎では、精神的・肉体的にも無理だと思います。小中一貫校ありきの進行となっているよう。

第五小学校区

- ・中高一貫の学校の計画もあるのではないかと思います。
- ・小中一貫教育について初めて納得のいく説明を受けた。話を伺っただけだが、何かとても魅力的な方向性が見えた気がする。思い切って、武蔵野からモデル校を一步進めてみてはどうだろう。中学から私学受験する子にとっても、6年間の教育が今までよりも大きな理想の中で培われたものになっていると信じたいと思うのだが…!!
- ・小中9年間一貫教育となると、学校によって先生方の指導のやり方に差が出てくることはないのでしょうか？
- ・20年くらい校庭解放をやっています。小学校6年生はもっと実力を発揮できる教育があると感じています。とっても立派で、とっても生意気で…大きい先輩の姿が近くにあれば成長すると思います。小中一貫になった場合は、中学校の先生が小学生に寄り添えるか、が大切になってくると思います。
- ・大変難しい課題だと思います。でもこれからの子どもたちのために考えていかなければ…？と思います。

大野田小学校区

- ・武蔵野市の小学校は住宅街の中に余裕なく建っているように思えるが、小中一緒にとするとそんな土地があるのかなと思う。
- ・本当に必要な事なのかどうか…まだ理解不足
- ・子どもたちが9年間同じメンバーということの問題はないのか。

境南小学校区

- ・小6は修了式ではなく卒業式にしてほしい。・他の地域へ引っ越す場合など考えると、本人の意識（卒業した）を大切にしてほしい。
- ・運動会は別々に。人数多すぎてありえない。

本宿小学校区

- ・次世代を担う子どもたちにとって、より良い議論であることを期待します。
- ・子どもの人数が少ない所と多い所で差が出てくるのでは？と心配です。

【関係団体（福祉関係）】

- ・小中一貫教育の必要性への理解は、どうしても得られなかった。結論ありきで話を進めてほしくないと思います。

千川小学校区

- ・良い面、悪い面いろいろな課題がある。いじめなど1つの学校になるとどうなるか。
- ・学区割、人数の偏り
- ・いじめなど、学区内で問題があった時9年間は…。
- ・子どもたちに問題が出た場合（いじめ等）9年間は長すぎる。

井之頭小学校区

- ・小中一貫校のメリットはよく分かりました。デメリットもあると思いますが、それも知りたい。学校区も変更になると思いますが、地域のつながりが壊れるのではないかと思います。
- ・本日の説明でよく理解出来ました。が、難しい問題だと感じました。今、学童やあそべえの関係は変わらないのでしょうか。順番に実施していくのですが、まだ未知のもので楽しみでもあります。
- ・今まで様々な観点から検討されてきたと思います。イメージとしてまだ分かっていないところがあります。息子が小学校の教員として勤務していますが、子どもとの関わり合い方は不満はあまり聞かれないのですが、保護者との関わり合い方はとても大変だと感じています。教育委員会は表に出ないようにしていると思いますが、負担軽減の意味からも少し考えていただければと思います。
- ・細かい所に気を配った、長期的な対応を考えてほしい。
- ・百聞必見にしかずということで、小中一貫教育を行っている地区の学校を見てみたいです。
- ・先生と子どもたちが接する時間増加が必要。そのためには、報告書等を大幅に減少するなど変化すべきである。

関前南小学校区

- ・すぐ判断できない。

桜野小学校区

- ・大人の目線ではなく、子どもの気持ちを一番に考え、どのようにしたら子どもがスクスクと伸びやかに成長していけるのかをよく考えたうえで、どちらにするのかを考えてほしいです。
- ・もし、小中一貫教育になったり校舎を建て直す場合、20数年間もかけずに多少改築年数がいってなくても順次建て直していくと、市内学校差がそんなにつかなくて良いかと思います。

小学校区未記載

- ・今回の説明会だけではアンケートの回答は難しいです。いずれにせよ大変とは思いますが、充分により多くの意見を聴き、ベストな方向で実現してほしいものです。急ぐ必要は決してないと思います。
- ・校舎の用地の予算的な面は十分考慮してください。クリーンセンター廃炉 15 億円、外構 8 億円、エコセンター 7 億円と平気で答える職員の無神経さは不思議。税金は限られている！

4 アンケート記述欄の概要 (2) 自由意見欄—市民— 【地域(3駅圏)】

第三小学校区

- ・疑問は沢山あり、時間不足です。
- ・未だ中身がないのに、検討できない。今の課題、教育の過重労働、部活の問題、少人数学級(30人)の実施を先行すべきです。
- ・施設の改築問題ではなく、教育の中身について、時間をかけて議論すべきです。

第四小学校区

- ・今日のようなやり方は無理のように思います。
- ・何故なら、小・中一貫教育のあり方がよく分からないから参加した(私)人もあると思います。そこでグループワークにしても、いろいろ意見があり、まとまらなかった印象があります。何故一貫教育にするのかを比較するだけでなく、その必要性をもっと市民に説明すべきと思います。
- ・参加者が少ないのには、びっくりしました。
- ・意見交換も、テーマが広すぎて話しにくかった。小中一貫教育に限らない話になったが、今はそれでよかったのでしょうか。まとまらない話で終わりました。

第五小学校区

- ・子ども達に一番良い教育から考えてもらいたい。
- ・子どもや保護者、教職員など「学校」に今関わっている人たちの意見、要望を取り入れてください。
- ・武蔵野市の未来を作る子ども達の教育はいかにあるべきかを時間をかけて討論してほしいと思います。
- ・市民の方との意見の交換ができ有意義でした。
- ・今後、さらに様々な角度から検討していただけたと思います。
- ・保護者、子どもの意見をもっときいてほしい。

境南小学校区

- ・教育について語り合う機会なのか、小中一貫教育について意見を伝える場なのか、よく分からなかった。
- ・小中一貫義務教育ありきには反対。武蔵野の子どもにとってより良い教育を語り、実現することには協力します。

- ・ 現実問題として、今の子どもの学力は落ちています。家庭の教育力の低下にリンクしているように感じるので、市の取り組む方向は、良いと考えています。
- ・ 子ども達の事を考えたら少人数学級が重要だと思います。
- ・ 先生の多忙化も解消しなければ良い学校にはならないと思います。
- ・ このアンケートで本当に参加者の思いを受け取ることができるのか？
- ・ 9年間を通して行われる教育に、？です。
- ・ 施設ありきの上で議論がなされている感がしました。
- ・ 予算の問題等大人の事情があるように思え、子どもが主役で話が進んでいない気がします。
- ・ なぜ一貫なのかもっと明確に示して欲しいし、現場の先生の意見ももっと知りたいです。
- ・ 子どもの学習や生活の場は、家庭的な少人数の環境が必要ではないか。多数の中でおちつけない子、さわがしい音や声に過敏な子が増えていてと思います。
- ・ 小学校は小学校、しかも小さな学校 300~400 人でみんなが顔見知りでいられることが大切だと思います。
- ・ 西久保コミセンでの意見交換会にも参加しましたので、今後の学校に望むことは書きましたが意見交換では義務教育学校にしなければいけない理由がわからないという意見が多数でした。

千川小学校区

- ・ もっと現場に近い人たちの参加があるといいと思います。意見交換やりました！という形だけにならないように実のあるものにしましょう。
- ・ 本気で声かけをして集まってもらえるといいですね。

井之頭小学校区

- ・ 12/26、27 の意見交換会はぜひ松下市長、宮崎教育長（教育委員も）出席してもらいたい。
- ・ もっと市民に真剣に周知せよ！！「市民の声を聞いて、小中一貫の設置するか否か」を聞く気がないと判断せざるをえない！！
- ・ 小中一貫教育を実施した際の系統的教育の内容を今回初めて理解しました。小学校・中学校の先生が、教育内容について情報交換、共有することが、子どもたちにプラスの効果につながることを期待いたします！
- ・ 検討委員会の答申は答申としてうけとり、市は小中一貫はもっと、時間をかけて市の方針をつくってほしい。Q3~Q5 は答えられない
- ・ いじめや、発習（原文ママ：事務局）の遅れなど、先生が生徒に対しキメ細かく対応できるような、教師のゆとりを確保してもらおう。教師の多忙を解消することの方が小中一貫教育より先だと思う。
- ・ 施設建設と教育内容をからめて欲しくない。

【地域（3 駅圏）】

関前南小学校区

- ・市が決めている会議の形におどろく。そんなことどこにも書いていない。この形の会議が市民がいやだと言っているのにこの形を押し付けてくる市がよく理解できない。
- ・子ども教育を学校のシステムの形として決めようと考えていますが、そこにあるのではないのではないかと思う。
- ・学校のシステム・形では教育が良くなる。
- ・小中一貫教育も含めて、子どもの教育についての論議が不足しているように見える。
- ・このアンケートにあるような項目をさらに拡大して議論をしたうえでどのような教育システムが武蔵野らしいかを決めて行くべきだと思うし期待したい。
- ・武蔵野市が高齢化をとめて、永続していく為には、幼児・児童等子どもを育てやすい施策の推進が必要であるので、充分論議検討を期待します。

桜野小学校区

- ・ワークショップ形式は、専門・中立的な立場の方が各テーブルにつかない限り、主導権を持つ人が場を支配したり、出た意見についてニュアンスのすりかえが行われるので適切な方法でないと思います。
- ・決めた形にこだわらず、人数規模を見ながら、実のある「意見交換会」にしたほうが、よいのではないですか。（運営の形ばかり気にしてもダメですよ）
- ・教育内容の議論したいなら「義務教育学校」にこだわるのはやめてほしい。
- ・あと、この場に検討委員が誰もいないのはおかしい。五長・調計の時の市民意見交換会の際には策定委員が必ずいましたよ。
- ・もっと議論、検討を深め、全市民に周知させる為に、五小・五中はそのまま小・中別学校として建替えて、5～10年位、時間の余裕をとってはいかがでしょうか？それが、本当に子どもの為の教育を考えることだと思います。市民があまりこの「小中一貫・義務教育学校」問題を知らないまま、たった一年で方向性を決めてしまうのはおかしいと思います。なんで義務教育学校なのか？という話も納得できないままでした。
- ・「なぜ検討するのか？」に対して、A3資料と2016年の教育長の説明で一致しません。検討理由が変わっても、結論が変わらないのはフシギです。
- ・「小中一貫でどうかかわるか」カリキュラムについて具体的な記述がないと、看板をかけかえてるだけです。

小学校区未記載

- ・小中一貫教育をこれからの武蔵野市の教育の在り方の中で論じる必要はあるが、そのことが小中一貫教育の視点をぼやかしている。そろそろ、小中一貫教育のメリット、デメリットだけにしぼって議論すべき時期である。どうどうめぐりの状況に陥ってしまっている。

- ・五中「市長への提言」でも取り上げられていたが、中学生の考えは、小から中へ環境を変えて、リセット、再スタート、心機一転の中で学校生活を送りたいと考えているのだと思う。
- ・いじめの問題一つとってみても、限られた人間関係を9年間も持続していくことのデメリットは大きいと考える。
- ・上記2つの「・」が中学生の核心をとらえていると思う。
- ・今日のようなかんかんがくがくの議論が必要。市民をまきこんだ市民的議論が必要。検討委員会は来年2月に結論を出すべきではない。2、3、5年かかっても市民的議論をすべき。検討委の委員は(今日のような)市民の意見交換会に来るべきである。
- ・現状から、小中一貫義務教育学校へ、構造そのものを変えようとしている武蔵野市ですが、教育において失敗は許されるものではありません。教育における文科省の「ゆとり教育」これを失敗と誰も言っていませんが、ここで失ったものの大きさは誰もが感じていることです。武蔵野の中でも、千川小学校、大野田小学校の校舎は100年使えるオープンスペースを売りにたてられました。この2校の学校は、効果が大きかったのでしょうか?利点もあるかと思いますが、弊害も大きいと感じています。このような問題を持つ教育に現状解決できていない問題も多い中、小中一貫義務教育学校がすべての問題をクリアする教育であるとは言えません。この教育に変更し、後もどりできない状況を作ることには反対します。
- ・教育については、子ども一人一人が安心して通える学校をどう作るかは大きな問題ですが、現状の問題を明確にし、対策をひとつひとつ立てることから始めたい問題です。
- ・他地区の先行事例の検証から、(+)(-)両面の「事実」をつかんでおきたい。

4 アンケート記述欄の概要

(2) 自由意見欄―市民―

【吉祥寺東コミュニティ協議会】

第四小学校区

- ・大衆の意見はあくまで参考とし、結論を出していただきたい。
- ・第二校地に特別支援学校をつくる気はないのでしょうか？この規模の広さの市なので、武蔵野市内でも1校つくるべきだと思います!!もっと障害児にも目を向けてください!!人口が増加すれば障害児も増えると思います!!

本宿小学校区

- ・何のための施策であるのか？誰のためなのか？長期的視点ではどういう方向に？未来の武蔵野市の教育基盤、内容を支える教師の質？
- ・マクロ的には少子化が現実のものになる2025年以後、具体的な政策はどうあるべきか？課題への向き合いが重要ではないか。
- ・昨日、NHKのEテレ「教育シンポジウム」で語られていた“ベーシック・エビデンス（慶応大学中室教授）”の論拠は、先進的、合理的、論理的であったと思います。ご参考まで。
- ・尚、設問に有効という用語が多く、それが行政なのかと…
- ・メリット・デメリットを長期の時間軸で示せないか。
- ・今のままで将来にわたって耐えられるのか。将来の予想が伝わらないと踏み切れない人は多い。このままで（国の方針は進むと）良いのか。今踏み切らないと、あとで周回遅れにならないか。
- ・先生が忙しい、ブラック企業と言われている中で優秀な人材が教員になろうとしてくれるか？
- ・現状の進み方の良い所を利用しての市の対策の中で、ついていける学生にとってはマイナス面はないと思うが、授業についていけない、不登校、××な子に対して、カウンセラーをつけているというが、学校外での対応。
- ・現場の先生の意見を重要視する必要あり。仕事量の大小と力、先生の質の問題は？*希望としては小・中・高校、義務教育の必要性を感じます。
- ・限りある財源を、最大限有効に子どもたちのために使うのに必要であれば、小中一貫もしかたないのか…。
- ・しかし!!9年間メンツが同じによる、イジメ、不登校等の問題について、しっかり方策をしてほしい。
- ・教員指導者の充実。地域の力を大切に。
- ・多様な意見が出てよかった。市の説明もよく理解できた。

- ・一貫校をスタートさせるにはかなりのエネルギーが必要。良い事づくめではなくデメリットもあるはず。そこら辺の問題をすべてクリアにしてからのスタートでは時間がかかるものの、できる限り種々の面を考慮してスタートしてもらいたい。
- ・市教委が目指す「子ども像」をもっと明確に示してください。
- ・これまでの市の教育を肯定するあまり、あえて改革する大義が見えにくい。はっきり課題を示してください。
- ・カリキュラムの変更も含め、学校が変わる・変わらなければならない点を明確にしてください。
- ・地域が知りたいことは「目指す子ども像」に向かって、ともに力を合わせる、地域が果たす役割を明確にしてください。
- ・施設のあり方を強調しすぎて、施設の話に聞こえてしまっています。多摩教育格差の是正をしっかりと体系づけることによって解決に向かうためには、2020年を前に今であることをしっかりと示してください。教育委員会が「迷っている」ような姿を見せることは、市民に不安を与えます。自信をもって進めていただきたい。
- ・市の基本的な目標（人間形成）を細かく、深く示していただき、その方針を実行してから、小中一貫を進めてくださるようお願いしたい。教育は人間形成が最重要であるので、教員、指導員の資質を高めてもらいたい。

4 アンケート記述欄の概要

(2) 自由意見欄—市民—

【武蔵野の教育を語る会、武蔵野市の「小中一貫校」を考える会】

第五小学校区

- ・小規模の話し合いだったので、とても気軽に話せてよかったです。
- ・多様な子が一緒に育ちあえる学校になってほしいと思います。

(図示されているようなのでそのままの配置を再現)

今→未来 小中一貫＝検討の方向性

今→レベル up＝小中連携やきめ細やかな教育

未来 →検討プロセスが抜けている

今の教育が限界なのか？ 教職員の多忙化改善

インクルーシヴや包摂を意識しすぎて、+ (プラスする)

発想が強すぎると思う。

- ・今のシステムが変わらないと良いと思います。
- ・問題ない。どうして変わるの？
- ・理由はなんですか？
- ・今まで日本の総理、先生たちは同じシステムの中で勉強してきました。だからそのままにしていいです。

境南小学校区

- ・教員からの小中一貫校の要望はあるのか？疑問をもってます。

桜野小学校区

- ・子どもの意見、経験も反映した計画にしてほしい。
- ・Q2～Q5、選択する前の情報を自分は持っていないことも感じました。職員も気軽に参加できる場があることはありがたいと思いました。(メンバーを見てドキドキしてしまいました)
- ・市内の子どもの現状が今一つ見えていない。地域性もあるのか、格差・貧困等条件、状況によって違うのかと思います。
- ・なぜ小学校区ごとに中学校をつくるかどうしても分からない。
- ・このアンケートは著しく書きづらい。どうしても一つの方向で書かせようとしている。
- ・今日も発言させていただきましたが、(他の方もおっしゃってましたが) 子どもたちのために本当に良い教育とは何か？が説得されていない、自分が納得できる説明を受けられていないので、施設一体型小中一貫義務教育学校に賛成はできないです。

小学校区未記載

- ・ 1つの学校ができるだけ小さくなるのがよい、またはこれから必要だと思うので、今の施設一体は賛成できません。(現段階では)
- ・ だから、もっと調査したり、議論したりと言う時間が必要だと思います。
- ・ 子どもの姿を(実際に)もっと見ましょう。
- ・ このアンケートの質問が難しすぎ。小中一貫誘導的。
- ・ 検討委員会のスケジュールが先にありますが、今回も含めいろいろな問題点の指摘あり、子どもの具体的な問題点等への見通しがあまりにも説明になっていない。あまりにも問題多すぎる!!
- ・ 子どもにとって優れている提起とは全く思えない。
- ・ より多くの人の意見を聞く努力を続けていただきたい。立場によって意見は違います。
- ・ 小学校では、これまでの子ども像とは違う姿、保護者のニーズの変化が見られます。その点をきめ細やかに見極めてほしい。
- ・ 他地区の実態をたくさん集めて検討してください。
- ・ 学校制度を大きく変えることに慎重になってほしい。
- ・ 「どちらに行くにしろ」ではなく、「義務教育学校に行く」という提案をしていることが問題になっていることを自覚してほしい。

4 アンケート記述欄の概要

(2)自由意見欄 一教員等—

【小学校教員等】

- ・本日はありがとうございました。
 - ・小中一貫の校舎を建設している間の子ども達はどこで学習をするのか
 - ・中学から私立に進学する生徒が多くいた場合、クラスの人数などどうなるのかなど、疑問に思うことが多くありました。小中一貫を完全否定するわけではないのですが、今のところまだ小中一貫を行うことに魅力を感じません。良いことなど多くあるのだと思いますが、1番の狙いがよく分からないなあ…と思いました。
- ・「施設一体型」や「全小学校区」にどこまでこだわる必要があるのかということには疑問を感じる。今、十分うまくいっている学区ではそれほどの改変の必要性を感じないのではないかと思う。
- ・思い付きや流行、改革のための改革であってはならないと思う。(かつて学校二期制が話題に上り、実施した市町村もあったが、後悔しているケースも多いという。大きなことでは「ゆとり教育」もいろいろと問題となった)
- ・日本の6-3制の義務教育は、とても良い。
- ・子どもの安心安全が確保できる建物ができるのかどうか…不安が残ります。
- ・各スタイルで先行している自治体の教員や地域、子どもの考えを聞きたい。実際にやっているところの生の声を聞かないとイメージがわからない。
- ・あまりメリットを感じない。
- ・校庭が1つになるということを見ると、そこで1~9年までの子どもたちが遊んだり学んだりすると思うと、現実的ではないと思う。
- ・9年間、同じ子どもたちで過ごすことを考えると、人間関係がむずかしくなった子どもたちが出た場合、気持ちを切り替えるチャンスがなくなるのではないかと、心配に思う。
- ・話し合いの中でも出てきましたが、改築ありきの計画なのかな…という不安が大きいです。地域・子どものためなどが欠けているのかなと思います。以下、不安な点など。
 - ・建物が高くなることへの近隣住民への考え(日照権・騒音など)
 - ・9年間共に過ごすことでの子どもの成長のストップ(責任感(上級生として))→9年生にならないと最上級生にならないのは、責任感が育たない。(交友関係の停滞(出会い別れがあって、リセットできる良さもある))
- ・小中一貫のメリットがどうやっても見えません。
- ・**Slow&Long** でみていくことはとてもよいと思いますし、教育現場の声を大切にくださることはとても嬉しいです。であるなら、なおさらのこと、「子どもたちをどうしていきたいのか」を第一に考えてほしいです。

- ・要望：小中全教職員を集めての説明会、意見交換会をしてほしいです。他の先生方の話も聞きたいです。
- ・小学校を基本として一体型施設をつくることのメリットを感じられなかった。特別教室や校庭、第2校地の利用の仕方が曖昧なまま実施しても、子どもにとってはストレスが多くなり悪影響だと思う。特に行事の時などは難しいと思う。床の面積が増えても（高さ）不便さが増え、事故等の可能性も大きくなってしまっているのではないかと感じてしまう。今のままのほうが子どもにとってはいいのではないかと感じる。確かに学校改築の必要性はあるのだが…。
- ・今まで自由に使用できていた校庭等が、小中一貫になることによって制限され、調整する必要が出てくるのでは。
- ・9年生まで続くことによるマンネリ化。中だるみが心配。
- ・管理職が一枚に一人ずつでは、全ての対応が困難なのでは。
- ・前例がない珍しいケースなので、本当に子どものための改革なのか…疑問が大きい。
- ・9年間同じというのは、子どもたちも切り替えができずストレスや不安を感じるのではないかと。今の6-3制の良いところの一つに、中学校で新しい友達、新しい環境で頑張ろうとする子どもが多くなると思っている。選択肢を少なくしているような気がしてまだこの案では賛成できない。
- ・何事も新しい事に取り組もうとすると、反対や課題が多くなることと思います。それは、その先に対する不安が大きいためだと感じます。今回の小中一貫に関しても、課題となる点ばかりが頭に浮かびます。
- ・小中一貫教育をしない。小中連携教育を実施してきたアンケートもとるべきだと思います。
- ・小中一貫教育のメリットが分からない。具体的でないです。良さが分かりません。
- ・（「小中一貫教育」を進めていくことが前提なので）説明やアンケートをとってもそれが反映されないなら意味がないと思う。
- ・メリット・効果ばかりうたって、デメリットは？（校舎が上層階になること、校庭の使用頻度、人間関係 etc.）
- ・9年間同じ人間関係はどうなのか（社会性を育む上で?!）リセットする機会も必要ではないか。
- ・今のままでも、小中の連携は取っていけると考える。
- ・小学生と中学生の特性があるので、校長1名では対応が難しい場合も出てくるのではないかと。
- ・ハード面だけで進めているのではないかと。
- ・学区が広がるので、登下校含め、安全面への不安もある。
- ・市民の小中一貫に対するニーズの高まりがあるのか、アンケート結果があれば公表してほしい。人件費の削減等、役所主導による小中一貫の真の狙いがあるのでは？と感じてしまう。
- ・多様性を認める、自立への基礎を養う、ということのためにはいろいろな人との出会いや区切りを意識しての解決・けじめのつけ方なども重要である。

・今日はありがとうございました。中1ギャップはぼくはあって然るべきと思うので、そこは失くしてほしくないと考えました。ただ一方で、今の教育の形にも沢山の問題点、課題があり、ハード面からごっそりと変えていかないと変わりません。先生たちの反対に向かう意識も、古きを重んじるばかりに変化を迎えられない象徴だと思います。色々な課題・問題はあると思いますが、新しい教育の形を作っていくことに期待しています。予測不可能な時代を生き抜く力強さを育てる武蔵野の教育を創って行ってほしいです。

・今日このような形で話をしていただき、ありがとうございます。特徴がよく分かりました。心配・不安が多く、小中一貫には反対です。しかし、今日のお話を伺い、全面的に反対ではないという気持ちに変わりました。

フィンランドで1年、教育現場を見させていただく研修の機会がありました（今から6年前です）。フィンランドにも小中9年を同じ建物で過ごす基礎学校がありました。建物は同じでも、先生方が乗り入れ授業をしたり、小中学生が交流したりすることは私が見る限りありませんでした。とてもシンプルに、ただ建物を一緒に使う形態です。その形態を望みます。私は小学校の教員として、今の小1～小6で交流しながら過ごす小学校文化を保っていくことを、いちばんに願います。小6がリーダーシップを発揮する1年を過ごして卒業し、新たな気持ちで中学生になることの意義はとても大きいと思うからです。小学校の高学年で一部教科担任制や、建物をひとつにすることには賛成ですが、何より小学校1年～6年の、6年の節目で生活するスタイルにできることが前提の上での賛成意見であること、ご理解いただければと思います。

・話が大きすぎてなかなかイメージしづらいのですが、施設の更新の他に必要性が感じられない気がします。変化は手段であり、目的ではないと思います。今のシステムがうまくいっているだけに、そのように考えてしまいます。

・家庭との関わりがさらに難しくなる気がする。

・説明をしていただき、以前よりイメージが湧きました。色々な課題はあると思いますが、校舎の老朽化、社会の変化等に対応するために必要性は感じました。協力できることがあれば言っていたきたいです。

・運動会・体育等の行事はどうするのか。

・部活動等への人数増加への負担が不安。

・小→中という新校舎へ行く、新鮮な気持ち等もあると思います。

・小学生から見て中学生がよい憧れとなり、中学生は小学生に教えることが楽しみとなれば良いと思います。

・小学校の校区に中学校が入るので、中学生の人数が減少し、学級数が減るのではないかと心配している。

・小学校の吹奏楽指導にかかる時間と労力に対して中学校の「部活手当」のようなものが一切ついていないことに疑問を呈したい。小中一貫を進めるなら、そこにも一貫性がほしいと思います。

- ・メリットよりもデメリットが多いと思います。小中一貫の実施ありきにならないよう、様々な意見を取り入れられるような議論をお願いします。
- ・メリットもあるが、現段階までに構築されている体制をどのように新体制に落とし込んでいくかが大切だと感じる。
- ・「建物（箱）から入る」という説明に聞こえた。無駄遣いのないように計画をたててください。
- ・「子どもがどうなのか」については、最も大切に考えて行ってほしいです。中1にあがって、その場に適応するために試行錯誤する良さ、小学校での人間関係ががらりと変わる良さ、変わらない良さ。小中一貫教育について悪いとは思っていませんが、子どもが置き去りにならないことだけを強く望みます。
- ・小学校の人間関係をそのまま中学校に持ち越すことになるのは子どもたちにとっては大きなマイナスになり得ることが心配。（小さな村の小中一校ずつしかないところでは、中学の不登校がととも多い）
- ・「中学生になるんだ！」という新しい気持ちを味わえなくなるのは残念。
- ・中学校で新しい友達に会える楽しみを奪うことになる。行く楽しみがなくなる。
- ・施設面など大々的な工事をするわりには、何か大きな効果が期待できるようには思えない。
- ・小中一貫の話を聞くと、児童・生徒にとっても教員にとっても良い話、前向きな話は聞いたことがない。小中一貫にするメリットもあまり感じられない。
- ・学校施設一体型にすると、体育館や校庭の使用はどうなるのか。小学校の授業時数だけでもいっぱいですが、中学校の授業時数まで入って対応できるのか。
- ・大変だと思いますがしっかりと実を結び形となることを願っています。
- ・特別支援学級などの設置はどうなるのか？
- ・提示された2パターン以外の考えはあるか？例えば、
三小・本宿小 四小・三中 ブロックならば
一校 一校
のような、学校編成?改編?みたいな方向はあるか？
- ・やるか、やらないかの検討よりも、方向性を決めて中身を充実させていった方がよいと思う。
- ・他区の一貫教育で、学習を先に行う（6年生で中学校の学習をする）ことがあった。転入してくると、学習の機会のないことになってしまっていたので、あまり市独自とならないものにしてほしい。
- ・「小学校区」での小中一貫教育について、先行実施例はあるか（探した限りでは見当たらなかったの…）教えていただけたらと思います。よろしく願いいたします。
- ・小学校区での一貫教育の前例やメリットがよく分からない。統廃合を狙っているとしか思えない。中学が単級化してしまったら部活動などの問題も大きいのではないか。
- ・このアンケートが、やることを前提とされたものであると感じ、答えにくかった。
- ・教員の多忙化が目に見えている。「武蔵野市に異動したい」という教員が増えるとよいですね。

- ・現状の小6中3のシステムで、他の地域より十分うまく流れていると思うので…。9年制をやっている地域の声をもっと聞いてみるといい。
 - ・小中一貫教育は何のために行うのか詳しく説明をしていただきたい。「子どもたちのため」ならば小中一貫教育は選択肢の一つのはず。例えば、少人数の学級経営による教員の増加、特別支援教室の教員増加など、いろいろできるのではないのでしょうか。「何のために」「何をする」のかをもっと話し合ったうえで最適な選択肢を選ぶことはできないのでしょうか。
 - ・「小学校区」「施設一体型」を検討とのことだが、武蔵野市は同様の小中一貫教育を実施している自治体への視察や調査は行ったのか(全国的に珍しい形とのことだが…)。行った場合、どのような効果や課題があったのかを数値で示していただけると幸いである。
 - ・中学校の教科担任制と違い、小学校では担任一人がほとんどの授業をもってきたのは、小学生の発達段階に適しているからだと考える。その良さがなくなってしまうことを希望します。
 - ・他地区からの情報などを聞いてみても、小中一貫のメリットがあまりよく分かりません。確かに、児童・生徒のことを考えると「メリットはあるんだろうな」となんとなくは分かるのですが…その体制を整えるための教員への負担を考えると、不安しかありません。物理的、時間的に勤務時間と仕事量を考えると厳しいのかなと思います。
 - ・品川区や三鷹市などで既に一貫教育として中・小の連携を行っている地域の実践から、利点等を聞いてみたい(あまり良いという意見を聞いたことがないので…)。メリットをもっと知りたい。今は不安というか、業務として厳しくなるというイメージしかない。予算面でのメリットなのであれば、そのことも知った方がすっきりする。
 - ・現在実施している市区町村の教員の声を分析し、生かしてほしいです。
 - ・小中一貫にするメリットが見つかりませんでした。不安ばかり残ります。“子供のため”というのであれば、現場教育の声を第一に考えてほしいです。子どもにとってよくなったとしても、教員の負担が増えるようであれば、教員が疲弊し、子どもたちに良い指導・教育ができない。現時点でも教員(特に担任)の負担が目に見えています。そして、一方的に進められているような感覚です。教員の不安や課題への十分なアプローチがほしいです。実際に小中一貫教育を行っている学校を踏まえて不安や課題への対策を検討してから取り組んでほしいです。やってみなければ分からない、では、子どもたちが一番かわいそうです。
- 小中教員の連携を考えているのであれば、施設一体型でなくても行えると思います。改築費が理由なら、そうとってもらえた方が諦めがつきます。
- ・小学校区にしているのは特徴的で子どもの通いやすさとして良い。
 - ・学校が何でも引き受けるのではなく「義務教育」として力をつけていく学校づくりをしてほしい。

- ・ 中学校受験にもきちんと対応し、9年間と言っても「9年間で」やり遂げるイメージにしない。中学受験しなくても9年間で発展的なコースもつくり、高校受験対策をきちんと取り入れる。
- ・ 教職員の異動で他地区から異動してくることを拒まれないようにする。教員の質の低下がないようにする。(都全体でやっていることでないため)
- ・ 中学校で「心機一転したい」「小学校の担任を思い出したくない」という児童にとってつらい!
- ・ 中学生がいつまでも幼稚で甘える場面も出る。
- ・ 中学の教員の授業改善もできると思うが、中学校教員の独特感が小学校に影響を与えるのではないか。
- ・ 研究などが反対される?
- ・ 同じ施設、校舎を使用するのは、いろいろな問題が考えられる。もし行うなら、同じ敷地内に、それぞれの校舎・校庭がある(部分的に共有)やり方が望ましい。
- ・ 規模が大きくなるため、教員間での連携がより必要になると思うが、それをどう実現していくか。小中での交流などが多くでき、中学校進学などの児童の負担感へらせると思う。
- ・ 異年齢の児童・生徒が交流できる機会が増えることは、成長にとってとてもよい効果があるのだと思います。
人間関係の中で、友達同士苦手な関係もあると思います。それが、今まで3年間や6年間というスパンで区切りがついたものが、9年間一緒となると、難しいこともあるのではないか。
- ・ 小中一貫教育にすることで子どもたちへのメリットは多いと思うが、その影響で教員にさらに負担がかかるようなことはないようにしてほしい。
- ・ 一貫にすることで、教員も働きやすくなると分かれば、前向きに考えられると思う。新しいことを始めるには、労力と時間が伴うと思うので、ぜひ良い方向に進んでいってほしい。
- ・ 義務教育学校と言う別の学校をつくるのは、何を目的にしているかまだ十分理解できていないというのが正直なところです。
- ・ 学校選択制の導入は?
- ・ 三鷹市は施設一体型ではない小中一貫教育を施行している。その成果や課題は、当市で何か反映させているのか?
- ・ 私自身がまだ小中一貫教育の経験がないので、既に行っている地域などの様子や成果・課題も知りたい。
- ・ 変えることの必然性、必要性を感じない。リスクの方が多いい感じがしてならない。本当に国だけでなく、現場の職員が心からその必要性を感じている時にこの計画が動き出さないと苦しい。全く違う仕事になる気がする。
- ・ 実施を急がず、施設の一体化を待って、というのはとても良い。小中の接続や児童・生徒理解など、メリットも多く考えられる一方、指導体制など課題も多く残されていると思う。

他区市とあまりかけ離れた方法は、異動などで教員が入れ替わる中、あまり機能しない可能性もある。

- ・武蔵野市の教育、特に特別支援教育は、他地域に比べてとても恵まれていると思います。そのような武蔵野市のアドバンテージを活用し、特別支援対象の児童に限らず、全ての児童が個に応じて自立・発達していけるカリキュラム作りができたらいいなと思います。
 - ・インクルーシブ教育、ノーマライゼーションを推進し、子どもも大人も互いに認め合う、支え合う豊かな人間関係を築ける場所になってほしいと思います。
 - ・小中一貫教育の準備を始めるのであれば、その他の報告書の作成や、出張などを減らし、業務の負担が増えないようにしてください。
 - ・Slow&Longでの検討には賛成です。少しずつ整備していくことで、設置したからこそ見えてくる課題を、次の学校を作るときに生かせると思うからです。
 - ・ハード面の整備だけでなく、ソフト面（特に人）をどう充実させていくかが、成功の鍵を握るのではないのでしょうか？6年で異動してしまう現状では、地域に愛着を持てるようになる前に学校を離れてしまう教員がほとんどです。教員の中に武蔵野のファンを増やしたいです。地域との連携は、その意味でも重要だと思います。
 - ・他地区で実践しているメリットやデメリットについて分析し、情報として共有できるようにしてほしい。検討段階での進捗状況等、細かく情報を発信し、共有できるようにしてほしい。
 - ・既に実施している地域の苦勞、実態も十分に調査することが大切だと思います。校舎が別々でもよい交流をしていると聞く一方で、一体型の所でも、交流は難しい、高学年の教科担任制は難しいという声もたくさん聞きます。
 - ・特別支援学級に関しては、小中ともに適正な人数になるように小学校区にとらわれずに設置してほしい。
 - ・特別支援学級の設備を充実していただきたい。
 - ・現行の良さも生かしつつ、小中一貫が実現できるように願っております。難題とは存じますが、宜しく願いいたします。
- 現行の良さ①6年生がひとまずの最高学年となる。→責任感・達成感が生まれる
- 現行の良さ②担任が全教科を担う。→個々の特性把握、日々のかかわりによる信頼関係の向上
- ・小学校と中学校で区切りをつけるためにも、小中一貫にしない方が良いと思う。
 - ・9年間、同じ人間関係で続くことに不安を感じる児童や保護者がいると思われる。
 - ・教員や職員の数が増えない限り、効果を感じられません。
 - ・小学校は小学校、中学校は中学校で教育していくことで十分効果があると思います。
 - ・土地の問題でも、どこに学校をつくるのか？
 - ・小学校区につくることで中学生の数は少なくなる。私立志向が強いところでは、生徒の数がとても少なくなるのでは。

- ・親の立場として、自分の子どもを育てた時の経験で申し上げます。小学校6年間の人間関係がそのままあと3年間も続くことのメリットを感じていません。むしろデメリットの方を感じます。9年間同じ人間関係の中で過ごすことで、学習環境が固定化し、刺激を受けづらくなることが心配です。また、人間関係に行き詰った児童が進学でリセットするチャンスがなくなり、中学生活も行き詰まる可能性もあるのではないのでしょうか。
- ・ざっくばらんに言えば、同じメンツで9年間も過ごすのは気が滅入ります。こういう意見は、大人から聞くだけでなく、もう少し若い世代からヒアリングすべきではないのでしょうか。例えば、義務教育を終えたばかりの高校生の意見も参考になるのでは（例えば市内にある都立高の生徒など）。
- ・新しい取組や仕事を減らさないと、教員の負担が増えるだけだと思います。
- ・小学校は小学校の良さ、中学校は中学校の良さがあるので、無理に一緒にしなくてもいいと思います。
- ・まずは、外国語を専科にするなどはできないのでしょうか。中学校の英語の教員枠に小学校の外国語の枠を入れるなどしたらいいと思います。
- ・新しい取組の前に、教員の負担を減らしてほしいと思いました。
- ・教科担任制は良いと思うが小中一貫の良さはあまりあるようには思わない。他の区でやっているところが成果を上げているなどあるなら納得できるが。
- ・小中一貫教育が進んでいった場合、効果的な事柄が増えてくるのだろうと考える。しかし、まだイメージしにくく、分からないことも多々ある。1つ1つ吟味しながら一貫教育の実施に向けていく必要がある。
- ・9年間の中で発達段階が大きく変わる中での対応についての心配はあります。ただ、学習指導においては、教える側、教わる側、双方に良い効果はあると思います。
- ・小1と中3では発達段階にかなりの違いがあり、9年間の施設一体型の一貫教育には不安が高いです。
- ・私立の小学部、中学部のように、校舎や行事が分かれているならば良いのですが、一緒に行うとなると運動会や様々な式は難しいと感じます。
- ・小6になって最高学年としての自覚や成長、また中1になり下の学年になることで初心にかえるという経験ができなくなると感じます。
- ・特別支援が必要なり、小学校で何かしらつまずいた子が、新しい気持ちで新しい場に向かうというきっかけが失われる可能性があります。
- ・武蔵野の教員として、また武蔵野で子どもを育てる親として私は小中は別の方がありがたいです。
- ・いじめ等で不登校だったり、人間関係をリセットしたいと考えていたりする場合の学区変更がスムーズだとよい。

- ・ 9年間の施設一体型の一貫教育となると…小学1年生と中学3年生では、発達の差が大きすぎるため、一貫教育を行うメリットよりもデメリットの方が多いように感じる。(学習・生活面でも指導面でも)
- ・ 小中が一つの校舎に入ること、いろいろな情報の共通理解が難しくなるのではないか。
- ・ 小学校5・6年生の上級生としての意識が減る。
- ・ 人間関係をリセットする機会がない。
- ・ 中学生の生徒が落ち着いていけばよいが、そうでないと低い年齢の児童に影響があるのではないか。
- ・ 中学生の生徒にとっては、クラス数が多い方が人間関係づくりにはよいのではないか。小学校区だとどうしても少なくなる。
- ・ 行う際には必要度の低い校務を削減して十分に小中教員が交流・打ち合わせをする時間を確保することが重要だと思います。
- ・ 小中一貫教育を行うことのメリットが見いだせない。今の対策のままのどこが課題なのか、どう利点があるのかが不透明で、それに市民の税金が使われるのはいかかなものかと思う。
- ・ 人材養成システムが最優先です。本市にランダムに赴任する教員や学校支援関係員に対して一定レベルの人材として一貫校で勤務させてこそその小中一貫教育です。
- ・ 9年もの間同じ集団で過ごすのはコミュニケーション力を育むことができない。中学生として新たな広がりを持てる集団での学び舎を確保すべきである。心機一転できる機会を大切にすべきである。よって、小学校校区9年の小中一貫教育には反対である。
- ・ 小学校区ごとにつくることは反対です。子どもたちが閉鎖的な人間関係の中で9年間過ごすことに、ストレスを感じるのではないかと思います。新たな環境や人との出会いにより成長できることは大きかったり、将来に役立ったりすると考えます(本校の場合、中学受験により中学校では1クラスになる可能性も大きいので)。
- ・ 一部教科担任制と小中一貫教育の関連が分かりません。中学教員が小学校高学年の教科担任をするということでしょうか？その時は中学教員が単独で授業をするのですか？それとも小学クラス担任も同席をしてゲストティーチャーのような形で行うのでしょうか？教員の多忙化解消が叫ばれる中、ますます負担が大きくなる気がします。むしろ、小学校の同学年担任間で教科を分担する形の方が負担も減ると思います。知っている範囲では、昨年度三鷹市のある小学校で行っていました。とても良い取り組みだと思いました。
- ・ 第6回検討委員会の資料を拝見しました。小・中学校別教育の場合の課題として「公立中進学率が低い」という記載がありましたが、小中一貫校にしてもその傾向が変わるとは思いません。現在は別れる友達もいれば新しい出会いもありますが、一貫教育にすると国都私立に進学する子どもが抜けるだけの状況となり、それが子どもたちにとって望ましい環境なのか疑問です。
- ・ 多様な面からの想定、検討が必要だと思う。

- ・長いスパンで考えた上での計画であることがよく分かりました。私立中を受験し、進学する児童の多い地域では、小学校区ごとの設置となると、中学生の人数が小学生よりもはるかに少なく、異学年交流を目的とした活動は成り立たないように感じました。何を一番の目的として小中一貫教育を進めていくのか、が大切になってくるように思います。
- ・保育園の併設は考えられないのか。ニーズが多いと思うので。働き方改革も含めて…
- ・ご意見も何も、質問内容が漠然としていて、非常に答えづらいです。この手のアンケート用紙を以て「先生方のご意見も聞いたうえで」と言われても困ります。
細かい事ひとつひとつ取っても不明瞭な点多すぎます。例えば、私は図工専科ですが、施設内に図工室と美術室を最低限、現状程度の部屋を別々に造っていただけるのでしょうか？同じ部屋を共有などといわれたら、様々な理由から絶対に無理です。
- ・小中一貫教育にする目的が、“小中の円滑な連携”のためというだけではいけないと思います。
- ・既に、他地区で小中一貫の事例があります。“武蔵野の小中一貫”と言いますが、しっかりと他の事例を調査して、我々に示していただきたい。それに教育価値もそうですが、実務面、運用面など、“働く側”のメリットもしっかりと示していただきたい。
- ・私は武蔵野市民です。全小学校区に新しい建物を建ててまで行うわけですから、えらく目立つ改革なのだと思いますが、派手なだけで、そのしわよせが教員や市民に来ないようにお願いしたいと思います。
- ・武蔵野市はセカンドスクールなど独自の教育を進めている、大変よい施策を行っています。小中一貫教育についても他の区市町村の施策に同調することがないように進めてほしいと思います。私は小中一貫教育には消極的です。学校は大きくなると健全な児童・生徒の育成は難しくなると思います。
- ・東京都での「働き方改革」を念頭に検討していただきたい。教員の負担（書類や会議含め）にならぬよう計画していただきたい。（一斉退社のような声掛けだけではなく、もともとの市からの仕事量を減らすべきだと考える）
- ・一日も早く実現することを願う。
- ・小・中とうまく連携したいという思いしかない。
- ・そのためにしっかりと検討したい。
- ・市民の方に配るものは文面だけ見ると「すごい」「いい事」となりそう。誤解を生まないような書き方でお願いします。
- ・閉鎖的な9年間で行き詰ってしまうこの対応を考えてほしい。
- ・保幼小についてはどう見通しているのか知りたいです。
- ・中高一貫校などとの住み分けはどのようにするのでしょうか。
- ・中学受験者が多いことに対して、どう対応していくのか知りたいです。

- ・資料などいつも丁寧にご用意していただきありがとうございます。実際に分かりづらいこともあるので、実践している学校（別地区の）の VTR などを観られるとイメージが伝わりやすいと思っています。
- ・難しい...校舎リニューアルについてはいろいろな環境、時代の変化に対応できるように、応用がきくつくりしておくとのよいのではないかと思う。（安全な建物。仕切り方の融通が効く壁…）
- ・相互乗り入れ授業での、小学校教員が中学校に出向き、授業をする意図や狙いがいまいちつかめません。（特に、小学校全科のみの免許をもっている場合何をするのが効果的なのか）
- ・18校→12校（施設一体型）にすることでの、人口密度等安全面への懸念事項があると思います。（それでなくても児童数が多いので…）
- ・小中一貫教育はやればやっただけの効果はあると思います。ただ、それにかかる費用をどうするのか。それだけの費用をかける価値はあるのか。更に市民の理解と同意を求めていく必要があると思います。
- ・1校あたり 600～800人という目安でしたが、今後 1000人を超えるようになります（桜野小など）。少しずつピークは下がってくると思いますが、人数が増えて大規模になった中で、一人一人の学習や生活を見られるのか不安があります。
- ・そもそも、9年間同じ学校にいる先生が少ないのに、9年間の成長に一貫性をもたせることに責任がもてるか。校長一人の負担はすごく増えると思います。

4 アンケート記述欄の概要

(2) 自由意見欄 一教員等—

【中学校教員等】

- ・小中一貫教育の目的や目標を明確化してもらいたい。他地域を参考にするときも武蔵野独自のものがほしい。
- ・「小中一貫」は、次の理由で実施すべきではないと思う。
子どもたちの発達を踏まえて、小・中学校があり、小学校の6年生が最上級学年として下級生たちの面倒を見て、まとめ、卒業式を経て中学校に入る。そして人的・物的に新しい環境の中学校で、自分をリセットして活動することの大切さを、この年頃にぜひ経験させるべきである。なぜなら、人は人生の節目で新しい環境に何度も入っていくのだから。「中一ギャップ」のフォローは、別の方法論で考えるべきである。
- ・それより前に現状の労働条件、環境の整備をすべき。多忙化解消、勤務時間無視の過重労働を何とかすべき。考えている時間もない。
- ・9年間人間関係が変わらず人間関係が固定されてしまいます。中学校になるところで人間関係も変わり、生徒1人1人が今までと変わるチャンスがある。このチャンスをつぶしてはいけない。
- ・第二校地は売却し、第一校地拡張の予算とする。
- ・小学校に中学をくっつけるのではなく、まず、全ての学区を撤廃し、一から校区を振り分けなおす。
- ・中1ギャップをなくすということは、ワクチンをうたないまま大人にしていくのと同じことであることを認識すべし。中1でひっかからなければ、高1にはなれません。
- ・小中学校の場所を一緒にするということが、小中連携によりよくなっていく訳ではないと思う。中学生と小学生とのギャップも大切である（高校生や社会人でギャップを感じることはさげられないので）。手厚さを間違えないような計画を立ててほしい。
- ・従来小6から中1に進学するということは、小学校から中学校に「上がる」という意識づくりができていたと思いますが、「7年生」「9年生」という呼び方をすると、小学生という意識のまま中学校課程に進級してしまうのではないかと懸念されます。また、「小中一貫教育」によって、基礎的な知識・技能の定着や思考力・判断力・表現力の育成がどのように育成されるのか、また部活動の充実が実現するのかあまりイメージしづらいです。結局は教員の負担が増えるだけなのではないかと思うと、この時期から小中一貫を実現すべきなのか不透明です。
- ・小学校の運動会や学芸会などを参観すると、6年生が最上級生として学校をリードし、自信を持って活動する姿に感動します。9年間の一貫教育の場で子どもたちのそうした心の成長が表現できる機会がなくなってしまうことを心配します。また、小中一貫が語られる時によく「中一ギャップ」という言葉が使われますが、ギャップがあるのは中一の時だけではない

という資料も見たことがあります。むしろ、多様化が進み変化の激しい社会を自分らしく生き抜く力が求められているのであれば、チャレンジをしていく強さを身に付けさせる教育が必要だと思いますし、それは小中一貫にしなくても現在の武蔵野市の教育で十分なされていると感じます。

小中一貫の本質が学校統廃合にあると考える市民もいます。児童・生徒の立場から小中一貫が考えられていないという意見です。小中一貫にすることで、児童・生徒に何が具体的にもたらされて、よりよき成長につながっていくのかを示せないという理解は得られないと思います。しかし、小中一貫にしなくても武蔵野市の教育は児童・生徒にとって素晴らしい教育が既にされていると思うのですが。

- ・話を聞いていると、小中一貫が前提となっている印象を受ける。生徒は恐らく反対派意見の方が多くと思う。教員も同じく。地域は分からないが、実際にその場で生活をしている者の多くが反対派だということに強行するのか…という恐怖を感じる。
- ・そもそもアンケートが『「小中一貫教育」を実施するとして』からはじまることに疑問を感じました。このアンケートで本当に“どちらにするか考えている”という気持ちは伝わりません。
- ・小中一貫教育にすることについては、中1ギャップの解消という目的が挙げられているが、今までと違う環境に対応していく力を育てていく面でどうかと思う。
- ・小中一貫教育が行われると、小学校高学年の幼児化が進む恐れがある。中学校の小学校化が進むとも言えるかもしれない。中1ギャップとは言うが、小から中への緊張感は子どもたちのやる気を引き出しているように思う。小中一貫教育を進めるのではなく、小学校高学年の教科担任制を充実させるのが良いと思う。
- ・以前勤務した学校は小中一貫教育に移行していったが、第二校地に老人ホームと公園をつくることで選挙票を集める政治的な政策によるものだった。そうならないよう願っています。
- ・行事運営が難しくなるのではないかな。
- ・小学校の卒業式、中学校の入学式が形式化してしまう。
卒業式⇒また同じ校舎、同じメンバーと過ごすことによって特別な意味がなくなるのでは。
入学式⇒中学から頑張ろうという気持ちになりにくい？
- ・9年間同じ場所に通い、仲の良い友人、安心できる教員がいる中で高校3年間という短さと、さみしさにギャップを感じてしまう子が出るのでは。そういった生徒は、中退という形で終わってしまうかもしれないのでは？
- ・市内にある特別支援学級（情緒通級、特別支援教室、知的固定級、聞こえと言葉、エコールーム、院内、肢体不自由）の扱いはどうなるのか。全ての学校に作ることが難しい学級（固定、エコールーム）と、全ての学校に作らなくてはいけない学級（特別支援教室）があるが、小中一貫だとどうしていくのか。特に特別支援教室を中学校で行う場合、拠点校が現状のまま1校では難しく、仮に小中一貫が実施されるならその前に拠点校を増やすべきだと思います。
- ・プールも二つ作るのですか？（時程のズレ、適切な水深の違い）

- ・ 時程のズレ、施設の対応年齢の違いから、特別教室などもそれぞれ別に必要。
⇒ 結局、別の建物の方がいいのでは？
- ・ 理念は分かるが、先人がもともと、分けた方が良いと判断して6-3になったのではないですか？ 発達段階や時程、年齢に応じた施設を考えれば結局分けた方が道理に合い、合理的、経済的なのでは？ デメリットを大きく上回るメリットがなければ納得できません。
- ・ あまり前向きに考えられない、というのが素直な意見です。
- ・ 小学校側はいつも中学校の教員に授業を行ってほしいと求めてくるが、逆をお願いすると拒絶する。これはどうかと思う。
- ・ 負担がこれ以上大きくなることだけは避けてほしいです。
- ・ 小中一貫教育のメリットがあまり理解できません。狭い校舎内で多人数を見ていくことで、落ち着いた日常生活が過ごせるのでしょうか？ 細部に目が行き届かなくなり、生徒一人一人に向き合う教育ができなくなるのではないかと不安であります。
- ・ 教員の多忙化に拍車がかかることも心配です。
- ・ 具体的な案を作ってもらい、それで意見を出していく。
- ・ 1校あたりの中学生の人数が半数くらいに減るとすると、学区制で学校を選べれば問題ないが、学校選択制になった場合、人数に偏りが出て、中学生が少なく、行事などが成り立たなくなるなどの不安はないか？ また、6年から7年生になる時に転校が増えるということはないか？
- ・ 全体の予算規模と個別年度の予算見込み。またその財源の確保の見込みはいつごろ分かる予定なのか。
- ・ 技能教科の先生は9学年分授業を考えなければならないとなるとかなり大変。何より、今でさえ専科の先生が少ないのに、講師で補うには無理がありすぎる。
- ・ 三鷹市など他地区で小中一貫教育を行っている地域の話を知ると、良い話は一切聞かず、効果より弊害が大きいという話ばかりでとても不安に思います。確かに以降機関の取組は大変で効果が出るまでに時間がかかるのだと思いますが、本当に小中一貫教育が子どもたちにとって必要なのか、大人の都合ではなく検討すべきと思います。
- ・ 小中一貫教育にするメリットが余りないように思える。免許状が小学校と中学校で分けられているのに一貫にできるものなのか疑問である。
- ・ 武蔵野は私立に行ってしまう子どもが多く、中学生の人数が少なくなる。各校、1クラスや2クラスでは今までのような行事ができず、伝統も盛り上がりもなくなってしまふ。体育一つとっても、相手がいつも同じということになり意欲の低下につながる。部活においても、まず合同チームでは練習も満足できず、不完全燃焼となる。あまり賛成はできません。
- ・ 小学校段階でリーダーが育成できなくなるのではないか。
- ・ 中学校に入学するという人生の大きな転機がなくなることで、9年間でダラダラとしてしまふのではないか。また、中1ギャップが高1ギャップに変わり、より事態が深刻になるのではないか。

- ・少学級になることで、部活は他校と合同でするしかないが、移動時間がかかり、その分の練習時間を延長するなら、また教員の負担が増大するのではないか。また、美術部のように学校行事に関わる部活は、合同でやるのは難しいのではないか。
- ・必要な人員を配置せず、臨時免許により専門でない授業を持たせる等、教員の負担が増加することにならないか。
- ・武蔵野市が考える「小中一貫教育」についての説明は聞きましたが、実際に小中一貫教育を行った地域の意見（メリット・デメリットともに）を聞いてみないとイメージが湧かない部分が多々ありました。
- ・「小学校区ごと」に中学校を分けた場合、中学の生徒数が減る予想だと聞きました。その場合⇒・団体種目の部活動の継続が困難 ・中学校独自の行事の継続が困難 ・同年代の友人との交流の機会が減少（コミュニケーションを学ぶ機会の減少） などが考えられるのでは？確かに、中学校進学への不安を抱いている児童もいますが、中学生への憧れをもって入学する生徒もいます。小学校進学への希望や期待を奪ってしまうことにならないかが心配です。
- ・現状の課題に対する改善策の1つとして「小中一貫教育」を検討しているのだとは思いますが、今ある良い部分を失くさないように進めてもらえればと思います。
- ・小中一貫にすると半固定した人間関係の中で9年間生活することになり、リフレッシュのチャンスを奪ってしまいます。
- ・中学生にはもはや必要ない小学校の行事に生徒も教員も振り回されます。その分、授業はじめ、大事なことに力と時間を注げません。
- ・既に小中一貫を行っている学校へ行っている知り合い達から、いい話は聞こえてきません。武蔵野市の子たちを助けてください。
- ・施設一体型義務教育学校の設置は、体育館、校庭使用では、使用割り振りが難しいのではないか。昼休み時間、一斉に校庭で遊ぶことを考えると安全面での不安がある。
- ・懸念される自校が多すぎて、実現しても課題・問題ばかりが起こると思う。小中一貫はやめた方がよい。
- ・小中それぞれの特徴を壊し、教員の多忙化を助長してしまい、今の教育の形を壊してしまうので絶対にやめるべきです。
- ・中学校入学は自分をリセットできる良い機会だと思いますので、小学校時代の自分の良くない所を知る友達や、苦手な友達関係が中学まで引きつがれ、9年間ずっと同じ集団で小6後に新しい仲間とも出会えないとなると、苦しくなる子どもが生まれ、不登校等の不適應症状に陥る子どもが増えてしまわないか心配です。
- ・中学に上がってくる時に、申し送り事項等を参考に対応を考えたりしていますが、学校生活を送っていると、小学校での様子とは全く異なっていることが多々あります。子ども自身の成長（小→中）かもしれないですが、中学で場所も変わる、先生も変わるから一からやり直そうと思って頑張っているかもしれません。気持ちを変えて中学生としてしっかりやっていき

たいという子にとって、環境が変わるというのは一つのチャンスだと思います。中学校生活には、少しずつなれていくことはできると思うので、あえて小中一貫にする必要はないと思います。

- ・中学校に入る時に「今度こそ」と思って切り替えをする子どもがいるが、そういう生徒の機会を奪ってしまわないだろうか。
- ・一緒に行くメリットも、自分は500人規模の学校でたくさん見てきているが、そうすると同じ中学校の活動は当然できない。教員の仕事も増える（在外のため、出張一切なし、部活は週2～3回、大会なし土日なし）で行っていた。小中ともに動くには丁寧な打ち合わせや準備が必要。それが取れるのか？
- ・施設は同じところにあるが校舎は別（同じ敷地内で移動）でないと、管理上の問題が出てくる。
- ・行事の際には、かなりの保護者の理解と助けが必要となる。公立においてそれがどこまでできるのか。
- ・小学校での6年間を振り返り、中学校から頑張りたい生徒は多くいる。そういった子どもの「やり直せる」機会を摘むのは反対です。また、6年間での子どもの人間関係をそのまま3年間引きずるのも大変です。小中一貫は反対です。中高一貫を考えてはいかがでしょうか？
- ・小中一貫教育は反対です。施設面（お金）のメリット以外はデメリットしかありません。
- ・小中で授業の時間も違い（45分、50分）、チャイムが混在してしまう。
- ・校庭の使い方も、多学年では同時に使用できない。
- ・各中学校の生徒数が今の半分くらいになってしまうと、部活動がまともにできない。
- ・小学校での不安感や、いじめ等色々な問題で不登校になってしまったりする児童が中学に上がることで再スタートのチャンスがある。その機会をつぶし、ダラっと9年間過ごすことになる。新たな気持ちで緊張感をもってスタートさせたい。
- ・教員の負担も増え、中学、小学のそれぞれの良さもつぶれてしまう。
- ・＜部活動について＞ただでさえ人と時間がない中、サービス残業のように遅くまで部活動をやっています。もし中学が12校となり、合同チームとなれば移動時間や管理体制に問題が出てくると思います。また、運動部に限ってですが小学生とと一緒にやるとなると発達段階に合わせた練習メニューにしないと、体の成長が追い付かずケガの原因にもなります。実際に中学1年生～2年生はスポーツ障害の訴えが多いです。
- ・＜保健室について＞小中一体型にしたとしても、保健室はそれぞれあった方が良いです。もちろん養護教諭も一人ずつ。子どもの数も増えるし、校舎もでかくなり移動範囲が広がれば、安全管理も心配です。小中では心身の発達も違うため、置く本も考えなくてはいけないので。
- ・＜中1ギャップ＞よく中1ギャップといいますが、小学生の頃不登校だった子が、中学では気持ちを入れ替えて頑張っている子がたくさんいます。中学生になり、環境が変わることはある意味リスタートするチャンスだと思います。

- ・小中一貫ありきで話が進められているように感じるが、中立立場で検討してほしい。現実的には難しい課題が多く、教員の負担が増えるのではないかと思う。その割にメリットは少ない。
- ・小中一貫にすることで、小学生の不安の緩和ははかれますが、その反面、緊張感なく入学する生徒が多くなるのではないかという不安があります。
- ・義務教育最後の3年間、社会へ出て行く生徒へ良い緊張感や社会の厳しさを教えるためにも、別環境が良いと思います。また、生徒も小学校と気持ちを切り替えてスタートできるのではないのでしょうか。
- ・小中一貫教育を推進するには、中学校・小学校職員の意識をどう近づけるかが最大の問題となる。それは、現在の学校運営においても、似て非なるものである（分掌、委員会等々）。学級担任制の小学校では、放課後の活動はほとんどないが、教材研究の時間が多い。中学校では、空き時間はあるものの、放課後は部活動、委員会活動に時間を取られる。以上のことから、小学校では中学の空き時間についてうらやましく思い、中学では小学校の放課後をうらやむ傾向がある。その他小学校と中学校の文化の違いとして、融和しない部分が多くある。以上を考慮し、小中一貫教育を推進するには、小中一貫教育、分離型で中学校区内での一貫教育を進め、校地の統合の後、一体型に移行することが望ましい。そのためには、学区の見直しを行い、中学校と小学校が無理のない交流ができるように組みなおす（距離）。また、交流するために必要な交通手段（バス・タクシー等）の手当が必要である。小中の交流を活発にするために、中学校教員の専門性を生かし、夏季休業中の研修会・講習会を行うなどの具体的なアクションを始めなければ、校舎を1つにしても一貫教育の実現は難しい。
- ・市民との意見交換は10回以上、現場の教員には是非の決定直前に各校1回のみ。現場は置き去りにされていると感じざるを得ません。
- ・小学校37.4%、中学校68.2%の過労死ライン超え（都教委）。同じ職場にすると中学校教員は勤労意欲を失います。小学校と「同一賃金」なのに「同一労働（量的なもの）」ではないと。
- ・減らす（スクラップ）部分なしに新しいことはどんどん導入する体質が教員の多忙化、過労死の原因である。教員の質の低下は避けられないでしょう。小中一貫によって。
- ・アンケート（生徒向け）は「やってみたい」ばかりで「やりたくない」がなく、誘導的。ひどい。
- ・小中一貫教育そのものに反対ではない。しかし、武蔵野市教育委員会が考えている小中一貫教育には、申し訳ないが夢がない。小中一貫教育を実施する根拠が弱いので。
- ・小中一貫教育を「施設一体型」で行おうとすることのデメリットが大きいように思う。部活動の維持や、教員の負担、子どもの夢、感じる魅力など、環境が9年間変化しない中でどう保てるのか、もっと考えた方が良く思う。
- ・一貫教育に変える必要性が今回の説明では伝わらなかった。

- ・小中一貫教育の話はどこが発端なのか疑問だった。説明では教育委員会でアンケートや方針などを企画した、とのことだが、生徒向けのアンケートは「小中一貫教育」をやる方向しか選べない（問6）など、一方的な感じである。
- ・市長は小中一貫に同意的でないという意見を昨年12月の「市長への提言」時に言っていたし、中3の生徒達も反対している意見がこの会で多く発表していた。中2へのアンケート（どうして中2にだけ？）をとったことを今後どう使うのか…。アンケートの形だけとって上意下達ということのないようにしてほしい。人によって考え方は多様だが、「小中一貫」にする or しないのバランスのとれた地点から話がスタートしていないと、納得がいかないと思う。
- ・「小中一貫」ありきで進めている進め方が問題。
- ・いろいろ説明を受けても、納得できる理由が見つからない。
- ・デメリットしか感じられない。
- ・これだけのことをするのであればもっと時間と労力をかけて検討するべき。
- ・未来の武蔵野を見据えて、どのような教育環境が求められ、必要とされるのかを考えながら実施の有無を考えていくべきだと思います。
- ・小学校区に施設一体型を作るという前例のないような施策であるが、失敗するというリスク ⇒「教育効果の成果が上がらない、反対する家庭が私立に進学するなどによる児童生徒数減少（武蔵野市民は裕福な家庭が多いためあり得る）」もあると思う。リスクはどの程度考えているのか？また、実施して10年後くらいに失敗したと検証されたときに元に戻すことはできるのか？
- ・一教員としては、小中一貫教育になるのであれば、異動希望を出し、他市・他区に異動します（今まで生活主任や教務主任を受け持ち、武蔵野のために尽力してきましたが…）
- ・小中一貫を検討するにあたり、市が抱える課題はあるが、零からの検討を考え、広く市民へ情報開示することが望ましい。
- ・「教育」について、市場経済論理を持ち込む必要はないと思う。効率や結果（短期的な）を求めてはいけないところであり、安易に手をつけることに危機感を持つ。小学校単位での義務教育学校では、中学校教員の数が半分になってしまい、今でさえ不十分な「良い教員育成」がさらに難しくなる。
- ・経済面を考える小中一貫は必要ないと思う。説明を聞いた限りでは、経済面でのメリットしか感じなかった。教育と経済は切り離して考えてほしい。未来を担う子どものために。
- ・小から中というハードルを乗り越えることで成長する「節目」という視点が論議の材料からはずれていて（少なくともパンフレットには載ってなく）、「争点はずし」のように感じている。
- ・中学校の規模がかなり小さくなる今の形は、まず考えられない。
- ・メリットもあるだろうが、全体的にデメリットの方が大きいと予想される。

- ・武蔵野市の小・中学校の校舎の改築の時期が迫っているのはよくわかります。防災上からも改築は必要だと思います。しかし、校舎改築と小中一貫教育の開始は別物であるので、改築の時期が近付いてきているからと一緒にすべきでない。小中一貫教育にするなら、もっともっと時間をかけるべきです。品川区も三鷹市も武蔵野市が目指しているものと違いがあるかもしれないが、変えてよかったという意見は私の知る限り一つもない。地域の住民も、学校関係者（教員も含め）、子どもたち、卒業生の納得がないまま急に変更したことが大きいと思う。武蔵野市は同じ過ちをしないでほしい。
- ・私は桜堤小学校、第二中学校の卒業生です。桜堤小学校ができた時、こんな素晴らしい校舎はない、武蔵野市の教育は素晴らしいと言われて信じてきました。小学校も中学校も名前すらなくなってしまうので、心のよりどころをなくすようでとても悲しいです。小学校や中学校を柱としての文化は、その市政だけのものではないと思います。
- ・品川区、三鷹市の真似をしようとしている。2地区のやり方を組み合わせようとしていると思われる。品川区、三鷹市どちらも勤務している知人からは小中一貫の大変な苦労話しか聞いていない。小中一貫にして良かったという話を聞いたことがない。小中教職員一緒の50～60人の職員会議の後に小中分かれた職員会議をして、会議時間だけでも倍以上必要になる等、他多数。
- ・小学校区に施設一体型の新校舎を建替える案は、現在ある市立学校全18校を小学校数12校分に費用を減らしたいのでは、と思われる。財政難なのであればセカンドスクールの日数を減らす等、税金の使い方の工夫で市内18校すべての建替えもできるのでは。セカンドスクールは見直すべきと思う。
- ・武蔵野市が検討する「小中一貫教育」には反対です。武蔵野市の教職員が今まで積み上げてきたもの（「市民性を高める教育」等）を生かして、武蔵野市の子どもたちの実態に合わせた（国主導ではなく）武蔵野市独自の教育を築いていってほしいと思っています。

4 アンケート記述欄の概要

(2) 自由意見欄 一高校・大学生一

- ・武蔵野市の実態をあまり知らないので、小中一貫校に対して私が思うことを書こうと思います。まず初めに私は武蔵野市に限らず、小中一貫というものに反対です。その大きな理由として、小学生や中学生という大事な成長の時期に新しい人や事に出会うことができる機会を失うということです。私は人格の形成の根幹をなすものは主体性と想像性だと思っています。その2つの能力を育むのに最も有効な手立てとは、ある程度の社会を築き、社会性を身に付けた上で、リセットして新しい環境に身を置くことだと思っています。ある社会における決められた立場を貫いているだけでは、主体性のある人はある、想像性のある人はある、と一定の枠組みを超えることがより難しくなっていくと思います。確かに、その社会に位置付けられ続けることで育つ能力はたくさんあると思いますが、それ以上に小学6年と中学1年をはっきりと区別し、ステップとすることは、人間力をつける上で有効だと私は思っています。そこで私が考えるそのデメリットを改善する手続きは、力強い社会を形成せざるを得ないグループなどの社会を提供することです。その具体的なことは浮かびませんが、私個人としては、前述したように、小から中に変わるほど大きな何かをもって、分離した学校教育に代えてほしいと思います。
- ・子どもや地域の事を考えることができる人材の育成
- ・地域健康クラブやテンミリオンハウスなど、武蔵野市には、高齢者に関するユニークな取組がたくさんあると思うので、学校とも連携できるのではないのでしょうか。
- ・幅広いコミュニティの増加
- ・既存で良いものはそのまま残していきたい。
- ・小中一貫校にするメリット・デメリット、改善策を話し合う場を、もう少し年齢層を広げて話し合いたい。
- ・武蔵野市は全く知らないので何とも言えませんが。将来、親の立場になって考えた時に、これまでであったもので活用できたものはそのまま使ってほしい。ICT 機器などは金もかかるし、ちゃんと検討をして、何の授業に必要なのか、何の機器が使われるとより良くなるのかなど。ICT がなくてもここまで成長してきた私たちもいるのだから、ICT や小中が全てみたいな感じになっていくのは違うと思う。
- ・T2 授業など生徒一人一人に寄り添った教育
- ・私が武蔵野市の学校や教育に望むことは、多様性を受け入れることです。武蔵野市の特徴として、外国人児童が多いことが挙げられると思いますが、グローバル化や異文化理解といったことが増えるので、差別やいじめなどをしないよう教育してほしいです。
- ・次に、地域との連携を大切にしてほしいです。オリンピックなどのイベント、体験学習の機会を増やして体験、経験をさせてほしい。
- ・教員が楽しいと思える職場づくりをしてほしい。

- ・施設設備が充実し、コミュニケーション機会が増えてほしい。
- ・コミュニティの広がりというのがもっとできると良いと思います。様々な人と触れ合うことで学べることは多いと思いますし、触れ合える場があれば新たな居場所にもなると思うので、そのような場ができてくると良いと思います。
- ・子どもの多様性を大切にしていくことが大切な気がします。
- ・セカンドスクールはぜひ続けていただきたいです。
- ・私は現在塾の講師として武蔵野市の学校に通う小学生を見ていますが、圧倒的に基礎的学力が不足しているように感じます。難しいことができなくてもいいと思うので、彼らが将来どこに行こうとしても困らない程度の基礎的学力をつけてあげるカリキュラムを組んであげてください。
- ・私は人間関係が一番心配です。9年間という長い期間をどのように過ごすのか。また転校生についてもしっかりと考えてもらいたいです。
- ・小中一貫校は良い面、心配な面どちらもあるので、今日出た様々な意見を取り入れてもらえたら嬉しいです。楽しかったです。ありがとうございました。
- ・グローバル化に向け、日本の文化や歴史などをしっかり学び、英語で発表できる力をつけること
- ・(67 ページ、問2の「7 その他」の内容として) 私は小～大の一貫教育の私立で小中と教育を受けました。中学は小学校からの友達がいて友達作りが新たにしやすい反面、外の世界を知る機会が極端に少なかったです。一貫にすれば、内向きの人間関係が強くなりますが、外の社会とのギャップを知らずに育つことになります。今私はそれを肌で感じています。小中は円滑なコミュニケーションができていましたが、高校でまたゼロから友達作りをする方法もよく知らず、社会的常識も欠如したまま生活しています。直そうと努力をしていますが、もっと早くから自分の問題点に気づいていれば、とよく思います。小中一貫校には、地域の人や他校と関わり自分と外の社会とのギャップを知る機会を多くつくってほしいです。最終的に努力するのは自分自身ですが、気付く機会を与えてほしいです。
- ・これから、教育をしていく上で先生との関係性や、先生との絆などそういう先生と生徒・児童の大事なことをこれからも残して行ってほしいです。中高一貫のみならず、小中一貫校も今増えています。小中一貫にするならば、メリット・デメリットをより話し合っって子どものためになる良い教育をしていてもらいたいです。私自身小中一貫や中高一貫の経験がないのですが、人間関係を壊さずに9年間有意義な人間関係を築いていける教育になればいいなと思います。
- ・「地域のコミュニティの中ですべてが解決できる」という完璧な市よりも「外部と協力して何かを築く」といったどこでも関わり合いを広げられる寛大かつバリエーション豊富な市になることを望みます。また、学生の目線から見ていると、地域交流の場が他の市と比べると少ないと感じる部分があるので、小中といった低学年からでもいいから“交流をする”という根本的な雰囲気づくりが鍵になってくると思う。

- ・個性の尊重を大切にしつつも、放任するのではなく先生が積極的に関わってほしい。
- ・小中一貫校を実現するにあたって懸念されることを先生方だけでなく、実際に通っている生徒とも話すことで意見を交換してほしい。
- ・生徒が礼儀を重んじて常識のある人に育つことができる教育
- ・市内が一体化して学校と関わりがより深まる環境が望ましい。
- ・子どもたちが楽しいと思える学校や環境づくりを整えてほしい。
- ・グローバル化社会が進むなかで、やはり英語と異文化理解というのを重要にしてほしい。「英語の大切さ」に気付ける環境をつくってほしい。また、ICT 教育機器を上手に活用してほしい。

